

平成 11 年度開発パートナー事業  
 ヴィエトナム社会主義共和国  
 「民家文化財保存修復技術向上計画」  
 実施協議調査報告書

平成 12 年 4 月

JICA LIBRARY



J1160124(2)

国際協力事業団・昭和女子大学

地 1 イ
J R
00-04

平成 11 年度開発パートナー事業  
 ヴィエトナム社会主義共和国  
 「民家文化財保存修復技術向上計画」  
 実施協議調査報告書  
 平成 12 年 4 月  
 国際協力事業団

13  
2  
11  
RARY

平成 11 年度開発パートナー事業  
ヴェトナム社会主義共和国  
「民家文化財保存修復技術向上計画」  
実施協議調査報告書

平成 12 年 4 月

国際協力事業団・昭和女子大学



1160124 (2)



ホイアン市人民委員会・副委員長 協議



ホイアン遺跡修復管理センター 協議



文化情報省・文化財保護局副局長 表敬訪問



文化情報省・文化財保護局・国際協力局 協議

## 目 次

1	調査団の派遣	1
1-1	調査団派遣の経緯と目的	1
1-2	調査団の構成	1
1-3	調査日程	2
1-4	主要面談者リスト	3
2	団長総合所見	4
3	協議事項	5
3-1	開発パートナー事業に係る説明	5
3-2	国際約束に係る説明	5
3-3	事業計画	6
3-3-1	プロジェクト名称	6
3-3-2	プロジェクト実施体制	6
3-3-3	マスタープラン	7
3-3-4	PDM	7
3-3-5	双方の投入、取るべき措置	8
3-3-6	プロジェクト協力期間	9
3-3-7	3年間活動計画	9
3-4	事業実施予定地の視察（セミナー等含む）	10
3-5	R/D 案及び M/D 案	10
3-5-1	R/D（案）	11
3-5-2	M/D（案）	13
3-6	プロジェクト開始までに双方が取るべき措置	13
4	今後の進め方	
	添付資料	
	・ R/D（案）及び M/D（案）	15
	・ 別添資料 1. 「フエ省修復予定民家の視察」	26
	・ 別添資料 2. 「ホイアン研修セミナー」	47
	・ 別添資料 3. 「ハノイシンポジウム」	50

## 1 調査団の派遣

### 1-1 調査団派遣の経緯と目的

平成 11 年度より新規に開始された「開発パートナー事業」（公募型）に関し、計 40 件、38 団体よりプロポーザル提示が接到する中、本件については、昭和女子大学がこれまでベトナムにて活動してきた文化財修復活動の結果得られた知見を活用し、越にて消失の危機にある伝統的木造家屋に関する文化財保護行政及び文化財修復に係る技術・知識の向上を目標とするものであり、案件実施の適格性が認められたことから、本事業選考委員会（JICA 役職員及び外部有識者で構成）及び外務省承認を得て、仮採択に至ったものである。

また、本件実施のために重要な位置付けにある、特権・免除等に係る日越両国間の国際約束についても、JICA 事務所を通じ、越側は同意する方向にある旨、連絡越した（平成 12 年 1 月中旬）。

右状況を踏まえ、今般、越国政府及び関係機関に対し、新事業形態である本件「開発パートナー事業」について説明を行い、先方の理解を得るとともに、本事業計画（案）の実施妥当性について現地日越関係者間と協議を行い、R/D（案）のとりまとめを行うべく本実施協議調査団を派遣したものである。

### 1-2 調査団の構成

団長/総括	等々力 勝	国際協力事業団アジア第一部次長
事業計画	友田 博通	昭和女子大学教授
協力企画	佐藤 和明	国際協力事業団アジア第一部インドシナ課
通訳	水越 龍	日本国際協力センター研修監理部

### 1-3 調査日程

調査期間：平成 12 年 3 月 12 日～3 月 22 日（11 日間）

調査日程

		日 程 (案)			
		等々力団長	友田団員	佐藤団員	通訳
12 (日)	午前	移動：成田→香港→ハノイ			
13 (月)	午前	大使館、JICA 事務所との打合せ			
	午後	計画投資省協議（表敬、事業計画、国際約束、R/D（案）等）			
14 (火)	午前	文化情報省協議（表敬、事業計画、国際約束、R/D（案）等）			
	午後	文化情報省協議（表敬、事業計画、国際約束、R/D（案）等）			
15 (水)	午前	移動：ハノイ→ダナン→ホイアン、ホイアン遺跡管理修復センター協議			
	午後	修復専門家チーム意見交換、ホイアン市修復文化財実績視察			
16 (木)	午前	ホイアン市文化情報局協議			
	午後	ホイアン市主催歴史的家屋修復セミナー			
17 (金)	午前	移動：ホイアン→フエ			
	午後	フエ省人民委員会文化局協議（事業計画、国際約束、R/D（案）等）			
18 (土)	午前	フエ省文化財修復対象家屋等、積算基準単価調査			
	午後	移動：フエ→ハノイ			
19 (日)	午前	積算基準単価調査			
	午後	積算基準単価調査、団内打合せ、R/D（案）等内容整理等			
20 (月)	午前	文化情報省協議（事業計画、国際約束、R/D（案）等）			
	午後	文化情報省協議（事業計画、国際約束、R/D（案）等）			
21 (火)	午前	文化情報省主催文化財調査修復シンポジウム			
	午後	計画投資省報告、大使館報告、JICA 事務所報告			
22 (水)		ハノイ→香港→ワシントン*1	大学用務*2	ハノイ→香港→成田	ハノイ→香港→成田
23 (木)		—	ハノイ→香港→成田	—	—

\*1：等々力団長、引続き別件調査団参团

\*2：友田団員：大学用務にて帰国日調整（旅費、大学側負担）



#### 1-4 主要面談者リスト

##### (1) 計画投資省

HO MINH CHIEN 労働文化社会局副局長  
NGUEN XUAN TIEN 対外経済局専門官  
NGUYEN THI THANH HAI 専門官他

##### (2) 文化情報省

LUU TRAN TIEU 次官  
DANG VAN BAI 文化財保護局長  
NGUEN QUOC HUNG 同副局長、  
NGUEN VAN TINH 国際協力局副局長  
LE NGOC DINH 国際協力局専門官  
NGUEN THE HUNG 遺跡保存課補佐他

##### (3) トウア・テイエン・フエ省人民委員会

NGUEN XUAN LY 副委員長  
CHAU DINH NGUEN 外交局副局長他

##### (4) フエ王宮保存センター

PHUNG PHU 副所長  
VU HUU MINH 技師

##### (5) ホイアン市人民委員会

NGUEN SU 委員長  
PHAM NGOC GIOI 副委員長

##### (6) ホイアン遺跡管理修復センター

HO TAN CUONG 所長  
TRAN ANH 副所長

## 2. 団長総合所見

(1) 本事業の基本の活動となったホイアンの町並み保存は、関係者の間では成功例として位置付けられており、町並み保存そのものの必要性は認識されている。また、ホイアン市も町並みがUNESCOの世界遺産に登録されたことで、民家を保存することの価値についても理解している。このことから、本案件の目的である、他の地域への民家修復技術の普及が可能となる行政レベルでの認識は得られている。本案件に対するニーズは高いと思料される。

(2) 本件実施の前提となる文化情報省による対象民家の文化財指定は理解が得られてはいるが、対象に選ばれようとする民家の所有者が指定を受け入れるか否かが重要な鍵となる。この理解を得るためには文化情報省による所有者との協議が必要である。

(3) その際に実際の修復が行われる民家は各省一軒であり、所有者に何らかの利益があるものでないと承諾が得られない可能性がある。ホイアンの場合は世界遺産への登録効果で観光客が増加したため、経済利益が多く得られたが、通常の民家では観光による経済利益は殆ど期待できない。このため対象となる民家の選定にあたっては、修復することで利益と考える所有者を見い出すことになる。

(4) 修復の技術自体は移転の必要があるが、前提となる技術はベトナムの工務店が所有している。このため、日本側専門家のみならず、越側関係者にも施工管理に参加してもらい、責任を分担してもらうことが最善である。今回の協議では、文化情報省には運営管理の指導を十分に説明したが、さらに確実なものとするための確認が引き続き必要である。

(5) また、セミナーを実施して技術、情報の移転を図るものであるため、参加者の確保が焦点となることから、越国関係者と調整の上慎重に準備すべきである。

(6) 地方展開が広まる場合、英語の出来る越人を探すことは容易ではなく、また技術移転の内容が抽象的であることから、通訳を庸上する必要がある。通訳の確保にあたっては優秀な人間を確保することが望ましい。

### 3 協議事項

#### 3-1 開発パートナー事業に係る説明

本事業については、既に在外公館を通じた外交ルート及び JICA 事務所より連絡済であるが、本件が政府開発援助ベースによる JICA と NGO による技術協力のパートナー事業であることから、これまで昭和女子大学が独自に行ってきた協力や JICA が直接実施してきた ODA ベースの協力と異なる新たな本事業形態の特徴、事務手続きの相違につき、あらためて当方より説明を行うとともに、越政府内での要請手続き方法につき確認を行った。

本スキームの特徴として、NGO、大学等団体からの提案に基づき実施される「オファー型」であり、先方政府の要請書は提出されず、従前の要請書に基づく政府内手続きがなされないため、越関係機関の必要書類の確認や提出の促進も併せ必要であった。計画投資省はプロジェクト採択に係る審査のために「15 号通達様式」による文化情報省からのプロジェクト申請が必要であることから、文化情報省協議時、当方より計画投資省要望を伝達、早急な準備・申請を促した。

#### 3-2 国際約束に係る説明

開発パートナー事業の開始にあたり、外務省方針として、通常の技術協力協定にあたる特権・免除に係る国際約束を各個別事業毎に別途締結する旨、全体方針が示されたため、今回訪越時において、越側関係機関訪問の際、これまでの JICA が直接実施してきた技術協力事業と異なり、本件 R/D の前提として別途、外交ルートを通じた国際約束の締結・口上書交換が必要であることを、当方よりあらためて確認した。

また、昭和女子大学の現地での事業実施に対し、国際約束の締結・口上書交換に基づき特権・免除が確保されるため、R/D 内容において、国際約束に基づき特権・免除が確保されるべく言及することを日越間にて合意するとともに、右に係る確実な履行を申し入れた。

特に、本件実施内容については、工事実施が含まれ、事故・瑕疵等に係る免責の担保及び免税の実施等が必須であることから、関係者間の周知、実施の徹底を求め、越側了解を得た。また、越においては ODA 事業に係る VAT 課税問題が還付方式で決着を見たばかりであり、今後現場への周知徹底が不可欠であるため、当方より還付の徹底を願ったところ、各省での事業開始時、文化情報局長が自らサイト地に赴き、本件に係る人民委員会に参加する予定であるため、人民委員会文化情報局に併せ財務局を招へいし、各税務署への周知・実施の徹底を図るとの由。一方、PMU(Project Management Unit)に文化情報省原局の他、財務局関係者等を含め、実施能力強化を図るべく R/D に記

載したい旨、越文化情報省より提案越したところ、前向きな提案として双方合意した。

### 3-3 事業計画

#### 3-3-1 プロジェクト名称

名称：「ヴィエトナム民家保存修復技術向上計画」

当初、「ヴィエトナム全国・・・」としていたが、研修セミナーの対象は多省に亙るものの、修復対象の家屋を教材として使用し、直接、日本人専門家が技術指導できる対象が6省のみであるため、日本側の事前検討を通じ、「全国」を削除し、上記のとおりとした。

#### 3-3-2 プロジェクト実施体制

M/D (案) ANNEX IV をもとに、実施体制について、文化情報省、フエ省人民委員会、フエ王宮保存センター等関係機関との協議の結果、我が方提案通り合意をみた。尚、M/D (案) ANNEX IV の共通理解としては、以下のとおり。

##### (1) 越側の全体責任は文化情報省

本件実施に係る越側の全体責任は文化情報省が負うことを確認。総括責任者は同省文化財保存局長。協議の席上、文化情報省文化財保存局長は事業開始時に本人が現地に出張し、関係機関への指示を行うとの言があった。また、実施中においても、必要に応じて文化情報省文化財保存局職員が現地に赴き指示・調整するとの由。

日本側総括責任者は昭和女子大学プロジェクトマネージャーとし、日越プロジェクト関係者からなる PMU (Project Management Unit) を設置、円滑なるプロジェクト運営の確保を図る。

##### (2) 文化情報省の指示に基づき各省人民委員会文化局が事業実施管理・監督

各省人民委員会文化局は文化情報省の責任のもとに、重要文化財指定・家屋修復工事・研修セミナー等に係る行政手続き及び事業実施管理・監督を行う。但し、フエ省にあっては、フエ王宮保存センターがフエ省人民委員会からの指示・委託に基づき、管理を実施するため、他省の文化局の役割を担う。

##### (3) 文化情報省の家屋選定・委託を受け、昭和女子大学が家屋修復工事を通じた技術移転活動を実施

文化情報省は、家屋保存修復工事に際し、修復家屋所有者と家屋修復に係

る預託契約を締結し、家屋の預託を受ける。修復工事の間、実質的な工事管理・監督は文化情報省の指示に基き、各省人民委員会文化局（フエ省はフエ王宮保存センター）が行う。

文化情報省は、昭和女子大学に対し、研修に供する修復家屋を工事実施期間提供、修復工事の設計監理と工事を通じた技術移転活動を依頼する。

昭和女子大学は、本事業工事の施主、発注者として現地の建設会社3社に設計図書に基づき見積りを依頼、原則的には、3社の中から最安値の1社を選定し工事契約を結び保存修復工事を実施する予定。

文化情報省との協議の席上、文化財保存局長より文化財保存工事請負可能組織として、「国営文化財保存建設会社、建設省建築研究所、文化財設計修復センター、フエ王宮保存センター、ホイアン・キムアン工務店」の5組織の推薦があった。しかしながら、我が方は、昭和女子大学のホイアンでの技術移転活動により、現地での通常の工務店を文化財保存工事に係る能力の高さを文化情報省に認知されるまでに育成しえた経験から、サイト地における人材育成促進が本件技術移転活動の要点であり、現場にて文化財保存修復工事に係る工務店を育成することが重要であることを説明。また、ODA事業としての会計上の透明性確保の観点から、JICA事業の受注者である昭和女子大学が工務店と直接契約する必要があることを説明、結果、文化財保存局長は、昭和女子大学が現地工務店と直接契約することを了解した。

### 3-3-3 マスタープラン

関係各機関訪問時、当方（案）を提示。民家文化財保護行政及び文化財修復の質向上をプロジェクト目標とし、修復工事を通じた技術移転活動を実施する本件マスタープランは、文化情報省より昭和女子大学に要望した内容に基くものであり、特段異論なく合意を得た。関係各機関のコメントは以下のとおり概して好評であった。

○計画投資省：ヴェトナム政府の方針と合致した内容であり歓迎。但し修復家屋選定にあたっては観光客が訪問しやすい場所の家屋を選定するなど、修復後の経済的効果を考えた選定を希望する旨、意見提示あり。

○文化情報省：ヴェトナム政府の掲げる重要課題に合致する。

○フエ省人民委員会：フエ世界文化遺産の充実に大いに役に立ち、歓迎する。

### 3-3-4 PDM (Project Design Matrix)

関係各機関調整において、我が方（案）を提示、内容説明の結果、越側合意を得た。特に、本件実施時における越側投入内容とともに、PDM表中「前提条件」のうち、確認が必要であった修復候補となる各省5件の民家の重要文化財指定につき同意を得た。

### 3-3-5 双方のとりべき措置

#### (1) ヴィエトナム側の投入と措置

##### ア 重要文化財指定

これまでの昭和女子大学と文化情報省共同の民家文化財調査に基づき選定した各省5件の民家について、各省文化局が文化情報省の指示に基づき家屋所有者と交渉し、重要文化財指定に係る調整を行う。合意を得た場合、指定手続きを各省文化局が居住者に代行し、文化情報省が重要文化財に指定する。なお、5件については努力目標とし、修復家屋1件については必須条件とすべく文化情報省、フエ省人民委員会と合意。(PDM「前提条件」記載)

##### イ 修復家屋の決定と居住者からの修復預託

重要文化財に指定された家屋5件の中から、優先順位順に修復対象家屋候補に対し、各省文化局が文化情報省に代行して家屋所有者と交渉し、本事業の対象となる修復家屋1件の預託を文化情報省が受ける旨、文化情報省、フエ省人民委員会と合意。(R/D(案)記載)

##### ウ 家屋修復における工事費のヴィエトナム政府負担と所有者負担

家屋修復工事に際し、ヴィエトナム政府は、当初の工事契約金の2割、家屋所有者も同額を原則と考えていたが、本調査団のフエ省における修復候補の家屋視察に際し、家屋所有者と懇談、負担額についても打診したところ、数百ドルが限界であるとの回答を得、家屋所有者の貧困の程度により家主の支払分も変更せざるを得ない状況等もあることが判明したため、文化情報省との第2回協議時、フエ省候補家屋視察の結果を考慮し、基本原則は、「所有者は出来る限りの努力をして負担すること」とし、M/D(案)PDMには、金額割合を明示せず、「ヴィエトナム政府と家屋所有者は工事費を負担する」との原則を示すにとどめた。家屋所有者との対応と負担額そのものの決定はヴィエトナム側に一任することになった。

##### エ 昭和女子大学への家屋修復の委託

文化情報省は修復委託を受けた家屋を、本技術協力事業実施に供すべく、JICA 開発パートナーである昭和女子大学に修復工事の期間中委託。昭和女子大学は修復工事を通じた技術移転活動を実施する。なお、昭和女子大学への委託に関し、文化情報省は、予め国庫補助負担割合、居住者負担金について明示する。

#### (2) 日本側投入と措置

我が方(案)を説明、ほぼ原案どおり合意した。

### (3) 双方共通事項

#### ア 研修セミナー

PDM で技術移転上重要とした一つに、サイト省内に加え周辺省の技術者等を招へいた研修セミナーがあり、双方にて30名ずつの費用負担とした。日本側は比較的高額の参加旅費を要する他省参加者分を負担、越側は修復工事サイト省内の参加者分を負担する旨合意。参加者召集については、文化情報省が行う旨合意。

研修参加対象となる省については、修復工事対象6省の最終的な決定を待ち、適切な選定をすべく、引続き、越側と調整する必要がある。

なお、3月16日ホイアン研修セミナー、3月21日ハノイ・シンポジウムにおいて、研修招へい対象である周辺省から、クワンガイ省・フエ省を除き、すべて参加者を得た。また、直接の技術移転対象省の候補である技術者と研究者は概ね参加しており、本件実施の際にも、研修対象者の選定と出席の見込みは立つものと思われる。但し、修復工事を行わない周辺省の研修対象者については、より確実に技術移転を実現すべく、引続き検討する必要がある。

#### 3-3-6 プロジェクト協力期間

2000年度～2002年度の3年間です承された。

尚、協議の席上、文化情報省文化財保存局長より、さらに協力期間を延長し、より多くの省で実施できるよう要望があった。

#### 3-3-7 3年間活動計画

##### (1) 年間作業スケジュール

年間2省において以下のスケジュールで概ね実施することが了承された。なお、雨季等が地域により異なり、また修復家屋の規模によっても、若干の前後・長短はあることも了解された。

4～6月：重要文化財指定、修復家屋の決定及び居住者から文化情報省への修復家屋委託

7～9月：修復家屋の調査と設計

10月：設計図書に基づき3社に見積り依頼（昭和女子大学）

11月：各省人民委員会・文化情報省等の許可と昭和女子大学への修復工事の委託

12～3月：家屋修復工事と研修セミナーを通じた技術移転活動実施

##### (2) 修復工事の対象となる省について

修復工事の対象となる省については、文化情報省第一回協議時（3月14日）、フエ省・バクニン省・ドンナイ省・ゲアン省・ナムディン省・クワンガイ省

という提案がなされ決着したと考えられたが、文化情報省との第二回協議（3月20日）において、クワンガイ省の調査が着手されていないことを理由に、2000年度に調査を実施予定のティエンザン省もしくはクワンガイ省の経過をみて決めたいとの保留の提案があったことから、最終的に5省は合意されたが、残り1省については、ティエンザン省もしくはクワンガイ省を対象とするという形で、調査結果を待ち決定することとした。

### 3-4 事業実施予定地等の視察

#### (1) フェ省修復予定民家の視察

フェ省修復候補民家を訪問。家屋の現状視察を行うとともに、家屋所有者と意見交換、修復希望を聴取、確認した。

（別添資料1.参照）

#### (2) ホイアン研修セミナーの視察

3月18日ホイアン市主催による遺跡保存修復活動に係るセミナーが、越側より同市及び周辺省の遺跡保存修復関係者、日本側から文化庁、昭和女子大学専門家チーム等の参加を得、開催された。冒頭、越側より、これまでの日本側官民支援に対する謝辞が述べられた。本セミナーにおいて、これまでの日越関係者による講演を聴取するとともに、開発パートナー事業においても実施を予定している周辺省を含んだ形での同種のセミナー開催の可能性、技術移転活動に係る越側実施能力につき、ある程度確認されたものと思われる。

（別添資料2.参照）

#### (3) ハノイ・シンポジウムの視察

3月21日ハノイ市において、ホイアン町並保存修復活動に係るシンポジウムが文化情報省幹部をはじめとした越側関係者及び昭和女子大学専門家グループ等の参集を得、開催された。冒頭、越側より、これまでの日本側官民関係機関による支援への謝辞があるとともに、関係者代表への表彰（勲章授与）があった。シンポジウムにおいては、日越の活動内容に係る講演を聴取するとともに、越側の文化財修復に対する積極的姿勢を確認した。

（別添資料3.参照）

### 3-5 R/D（案）及びM/D（案）

各章建てに逐次、越側と協議を行い、概ね、対処方針原案どおり、日越間にて合意した。

尚、署名については、本調査団は署名を行わず、越側関係機関の審査とともに、日本側においては、JICA本部、外務省のR/D最終（案）審査後、別



途、国際約束に係る口上書署名指示電が外務省より外交ルートを通じ発信予定であり、在越日本大使館・計画投資省間における右署名を受け、JICA ルートにて、JICA 事務所長あて R/D・M/D (案) に係る署名指示が行われる予定である旨説明し、越側了解を得た。R/D・M/D (案) 協議結果詳細は以下のとおり。

### 3-5-1 R/D (案)

#### (1) プロジェクト名称

「ヴィエトナム民家文化財保存修復技術向上計画」(原案通り)。

#### (2) R/D、M/D 署名者

以下のとおり日越間にて合意。

ア 日本側：JICA ヴィエトナム事務所長 (Witness：昭和女子大学学長)

イ 越側：文化情報省文化財保存局長 (Witness：計画投資局対外関係局長)

#### (3) 双方の取るべき措置

原則対処方針案どおり双方合意、R/D (案) 上記載。

尚、事前に一部不明であった実施管理監督体制については、一元的には本案件の責任を有する文化情報省となるものの、工事開始時の各省における施工管理責任については、文化情報省本省の指示に基づき、各省人民委員会文化情報局が担当となることを確認、M/D (案) ANNEX IV に各省人民委員会文化情報局が工務店を「Supervise」する旨表記することとした。

但し、トウア・テイエン・フエ省においては、遺跡保存の実施機関であるフエ王宮保存事務所が存在することから、トウア・テイエン・フエ省人民委員会における協議時、文化情報省文化財保存局副局长、人民委員会副委員長、フエ王宮保存センター副所長同席のもと、遺跡管理の行政面は人民委員会文化情報局、フエ市王宮保存地域における実際の施工管理はフエ王宮保存センターが担当となることを確認、M/D (案) に反映した (ANNEX VI 表中)。

R/D (案) 記載事項は以下のとおり。

##### ○日本側

- ・ JICA：昭和女子大学に委託契約
- ・ 昭和女子大学：委託契約に基づき実施
- ・ 昭和女子大学：工務店と直接工事契約
- ・ 本事業資金出処：JICA 事業予算 (ODA 事業)

##### ○越側

- ・ 本事業への承認・関係各機関の協力
- ・ 治安・災害等関連情報の提供
- ・ 特権・免除に係る国際約束の履行
- ・ 修復家屋所有者との預託契約 (文化情報省)
- ・ 工事中の施工管理 (文化情報省)

(4) プロジェクト実施体制

- ア 越側総括責任者：文化情報省文化財保存局長
- イ 日側総括責任者：昭和女子大学プロジェクトマネージャー
- ウ 両国代表者で構成される PMU (Project Management Unit)を設置する。  
構成メンバーは、日越間にて確定。(詳細 R/D (案) ANNEXII に記載)

(5) 合同評価

技術移転度合を測るために、中間評価、終了時評価を実施する旨、双方合意した。

(6) プロジェクト協力期間

3年間(2000年度～2002年度)、R/D(案)に記載

(7) マスタープラン (ANNEX I)

- ア 上位目標：全国の伝統的民家の消失防止・文化財保護
- イ プロジェクト目標：参加した各省の民家文化財保護行政及び文化財修復の質向上。
- ウ 成果：1件6省における民家修復模範例の完成。  
参加した各省の民家文化財保護行政官・修復技術者の技術・知識の向上。
- エ 活動：1件6省における民家を利用した修復工事を通じた技術移転活動。  
研修セミナーの開催  
修復に係る記録の作成  
技術移転対象者の理解度の確認

(8) PMU (Project Management Unit) (ANNEX II)

プロジェクトのより効果的・効率的実施を目的として、PMU(Project Management Unit)を設置すべく、ほぼ当方原案どおり合意した。

但し、協議席上、文化情報局側より、メンバーとして原局である文化情報省文化財保存局のみならず、文化情報省計画局(Planning Department)、財務局(Financial and Accounting Department)、国際協力局(International Cooperation Department)の3局を加え、実施体制の強化を図りたい旨、提案があり、双方合意した。特に、本プロジェクトでは、工事が含まれ、資材購買に係る免税の確保が必要であり、地方の税務署等関係機関への周知徹底、実施の確保が重要であることから、財務局をはじめとする官房各局の加入は、PMUの実効性強化の観点から重要であるものと思料。

### 3-5-2 M/D (案)

#### (1) PDM (Project Design Matrix)

原案どおり双方合意、M/D (案) に添付。

(詳細は 3-3-4 項及び M/D (案) ANNEX I PDM 表参照)

#### (2) 3年間の活動計画

2000年から2002年の3年間、越6省において各省1件のモデル家屋を使用した保存修復技術移転活動の展開につきM/D (案) (ANNEX II, III)に記載。尚、3年次目の候補地の2省のうち1省については、越側調査未了(2000年4月開始2001年3月終了)のため、M/D (案) に添付する活動計画表中、現時点での候補地2省両者に言及することとし、「クワンガイ省もしくはティエンザン省」と記載するとともに、タイトルに「TENTATIVE」と記載、暫定である旨表記すべく双方合意、M/D (案) に記載した(ANNEX II 及び III)。

#### (3) 双方関係各機関の関連(契約関係等)

R/D (案) に記載した「双方の取るべき措置」(3-5-1、3)項につき、プロジェクト実施時での日越各機関の関係をより明瞭にすべく図示、M/D (案) に記載(ANNEX IV)した。

### 3-6 プロジェクト開始までに双方が取るべき措置

#### (1) 越側

##### ア 文化情報省プロジェクト申請書

越計画投資省においてプロジェクト審査が必要であることを確認。前提となる文化情報省申請書(「15号通達様式」)が3月21日午前時点で計画投資省未着。計画投資省にてR/D (案) 審査の前提となるため越側書類動向をJICA事務所にて要フォロー。尚、3月21日午前、文化情報省協議時、文化財保護局長より口頭で、次官決裁を得ており3月21日午後、文化財保護局から計画投資省に持ち込む旨、確認を得ている。

##### イ 国際約束の締結

日本外務省本省にて本件R/D・M/D (案) 内容の確認後、在越日本大使館宛署名指示予定。右を受け在越日本大使館より、計画投資省あて連絡の予定のところ、口上書署名・交換につき適宜対応願うべく、調査団よりあらためて申し入れた。

ウ R/D (案) 署名

国際約束に係る口上書交換後、JICA ルートにて署名指示電発信予定。右を受け、JICA 事務所長及び計画投資省次官の間で署名交換。

エ 国際約束内容に係る地方への周知徹底

事業実施の際、本件に係る人民委員会が開催される予定であるが、文化財保護局長の現地訪問時、財務局、税務署関係者を招へいする等、再度、プロジェクト・サイト現地において関係者間に周知徹底を図る旨、文化財保護局長の言を得た。

(2) 日本側

ア 国際約束の締結

調査団帰国後、調査概要を報告し、外務省本省にて本件 R/D ・ M/D (案) 内容の確認後、外務省から在越大使館宛国際約束口上書署名指示予定。

イ R/D (案) 署名

ハノイにて在越大使館・計画投資省間における国際約束署名の完了確認後、事務所宛署名指示予定。

ウ 昭和女子大学との委託契約交渉・締結

国際約束口上書交換・ R/D (案) 署名が前提となる。右完了後すみやかに実施。

以上


RECORD OF DISCUSSIONS  
BETWEEN  
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY  
AND  
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT  
OF THE SOCIALIST REPUBLIC OF VIETNAM  
ON  
JAPANESE TECHNICAL COOPERATION  
UNDER  
JICA PARTNERSHIP PROGRAMME  
WITH  
NGOS, LOCAL GOVERNMENTS AND INSTITUTES  
FOR  
THE PROJECT FOR IMPROVEMENT OF PRESERVATION AND RESTORATION  
TECHNOLOGY FOR TRADITIONAL FOLK HOUSES IN VIETNAM

The Japanese Implementation Study Team for the Project for Improvement of Preservation and Restoration Technology for Traditional Folk Houses in Vietnam (hereinafter referred to as "the Project") by Showa Women's University under JICA Partnership Programme with NGOs, Local Governments and Institutes, organized by Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Masaru Todoroki (hereinafter referred to as "the Team"), visited the Socialist Republic of Vietnam.

During its stay in the Socialist Republic of Vietnam, the Team exchanged views and had a series of discussions with the Vietnamese authorities concerned with respect to desirable measures to be taken by both governments for the smooth implementation of the Project.

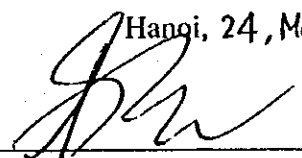
As a result of the discussions, both parties agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the document attached hereto.

Hanoi, 24, May, 2000



---

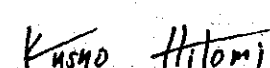
Mr. TAKANORI JIBIKI  
Resident Representative  
Vietnam Office  
Japan International Cooperation Agency



---

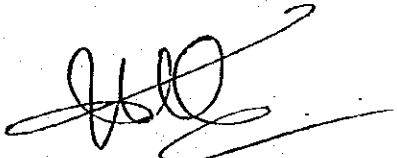
Dr. DANG VAN BAI  
Director  
Conservation and Museology Department  
Ministry of Culture and Information

Witnessed by



---

Dr. KUSUO HITOMI  
President  
Showa Women's University



---

Dr. DUONG DUC UNG  
Director General  
Foreign Economic Relations Department  
Ministry of Planning and Investment

## ATTACHED DOCUMENT

### I. Cooperation between both parties

1. The Government of Japan will implement the Project for Improvement of Preservation and Restoration Technology for Traditional Folk Houses in Vietnam as the Partnership Programme with NGOs, Local Governments and Institutes (hereinafter referred to as "the Project") in accordance with the relevant laws and regulations of Japan.
2. To implement the Project, Japan International Cooperation Agency, an official agency established by the Japanese law for the purpose of implementing Japanese technical cooperation on a governmental basis (hereinafter referred to as "JICA") shall organize and supervise overall implementation of the Project and entrust the implementation of the Project to Showa Women's University.

### II. Measures to be Taken by the Government of Japan

1. In order to implement the Project, JICA shall conclude a contract with Showa Women's University concerning the implementation of the Project.
2. Showa Women's University shall undertake the implementation of the Project efficiently and effectively in accordance with the condition specified in the contractual agreement with JICA by making available its personnel, equipment and other relevant resources.
3. Showa Women's University shall conclude a contract with the Provincial Building Firms concerning the restoration works.
4. JICA shall bear expenses to the extent that JICA considers it necessary for the implementation of the Project.

### III. Measures to be Taken by the Government of the Socialist Republic of Vietnam

1. The authorities concerned of the Government of the Socialist Republic of Vietnam endorse the implementation of the Project by Showa Women's University and organized by JICA and shall cooperate in its implementation.
2. The authorities concerned of the Government of the Socialist Republic of Vietnam, will provide Showa Women's University and JICA with the necessary information, such as disaster forecast, security conditions and etc., in order to assist the efficient and effective implementation of the Project.
3. The Government of the Socialist Republic of Vietnam will grant privileges, exemptions and benefits to the Project Team members and their families, and take necessary measures to

7.5

K.H. B

Q

meet custom duties, internal taxes and any other charges imposed in the Socialist Republic of Vietnam on the Equipment agreed on the note verbals exchanged between the two Governments on April 26, 2000.

4. The Director of Department of Conservation and Museology, the Ministry of Culture and Information of the Socialist Republic of Vietnam shall conclude consignment agreement with the residents before commencement of restoration works.
5. The Director of Department of Conservation and Museology, the Ministry of Culture and Information of the Socialist Republic of Vietnam shall supervise the restoration works, which will be implemented under the contract between Showa Women's University and Provincial Building Firms, in cooperation with Showa Women's University.

#### IV. Administration of the Project

1. The Director of Department of Conservation and Museology, the Ministry of Culture and Information of the Socialist Republic of Vietnam and the Japanese Project Manager of the Project will jointly bear overall responsibility for the implementation of the Project.
2. For the effective and successful implementation of the Project, the Project Management Unit will be established, whose functions and composition are described in ANNEX II.
3. The all parties shall consult with each other on any major issues arising from or in connection with this attached documents.

#### V. Joint Evaluation

Evaluation of the Project will be conducted jointly by the two Governments through JICA and the Vietnamese authorities concerned at the middle and during the last six months of the cooperation term in order to examine the level of achievement.

#### VI. The Outline of the Project

1. The Project will be implemented in accordance with the Master Plan which is given in ANNEX I.
2. The duration of the Project under this Attached Document will be three (3) years from July 1, 2000.

## ANNEX I. Master Plan of the Project

### 1. Overall Goal

Prevention of vanishment of Vietnamese traditional housing and preservation of cultural assets.

### 2. Project Purpose

Improvement in provincial cultural asset protection administration and cultural asset restoration quality.

### 3. Output

- (1) Completion of one good model of historical housing restoration per Province in six Provinces.
- (2) Improvement in ability and know-how of Provincial cultural asset protection administrators and cultural asset restoration specialists.

### 4. Activities

Transfer of restoration technique and know-how by carrying out restoration of one house per Province in six Provinces.

- Target group:
- (1) Ministry of Culture and Information
  - (2) The officers in charge of cultural assets in Provincial Departments of Culture and Information
  - (3) Centre for Cultural Building Design and Monument Restoration
  - (4) Hue Monuments Conservation Centre
  - (5) Provincial Architecture Planning Offices
  - (6) The chief carpenters of Provincial building contractors
  - (7) The teaching staffs of architecture universities

Holding of training seminar.

Drawing up of records related to restoration.

Confirmation of degree of understanding of the target group by carrying out tests etc.

T. J

K.H. B

X



## ANNEX II Project Management Unit

The Project Management Unit, which will consist of personnel from both the Japanese and the Vietnamese sides, will be established for the smooth and effective implementation of the Project.

### 1. Functions

The Project Management Unit will meet at least once in every six (6) months during implementation of the Project in respective Provinces or whenever necessity arises, in order to fulfill the following functions:

- (1) To formulate the Annual Plan of Operation of the Project,
- (2) To review the overall progress of the Project and achievement of the technical cooperation programme as well as the Annual Plan of Operation,
- (3) To review and exchange views on major issues arising from or in connection with the Project.

### 2. Composition

#### (1) Chairperson

- Director of Department of Conservation and Museology, Ministry of Culture and Information
- Project Manager of Japanese side

#### (2) Members

##### a) Vietnamese side

- Vice Director of Department of Conservation and Museology, Ministry of Culture and Information
- Expert of Planning Department
- Expert of Financial and Accounting Department
- Expert of International Cooperation Department
- Director of Centres for Cultural Building Design and Monument Restoration.
- Director of Culture and Information Department of People's Committee in Respective Provinces

- Those who will be assigned by the Chairperson as necessity

##### b) Japanese side

- Resident Representative and Staff of JICA Vietnam office
- Project Members
- Those who will be assigned by the Chairperson as necessity

MINUTES OF DISCUSSIONS  
BETWEEN  
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY  
AND  
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT  
OF THE SOCIALIST REPUBLIC OF VIETNAM  
ON  
JAPANESE TECHNICAL COOPERATION  
UNDER  
JICA PARTNERSHIP PROGRAMME  
WITH  
NGOS, LOCAL GOVERNMENTS AND INSTITUTES  
FOR  
THE PROJECT FOR IMPROVEMENT OF PRESERVATION AND RESTORATION  
TECHNOLOGY FOR TRADITIONAL FOLK HOUSES IN VIETNAM

The Japanese Implementation Study Team (hereinafter referred to as "the Team") and the Vietnamese authorities concerned with the Project for Improvement of Preservation and Restoration Technology for Traditional Folk Houses in Vietnam (hereinafter referred to as "the Project") had a series of discussions for the implementation of the Project in connection with the Record of Discussions of the Project.

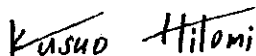
As a result of the discussions, both parties confirmed the items described on the attached sheets, and these confirmed items will be recommend to their respective Governments by each party.

Hanoi, 24, May, 2000

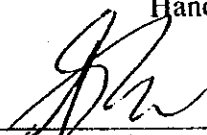


Mr. TAKANORI JIBIKI  
Resident Representative  
Vietnam Office  
Japan International Cooperation Agency

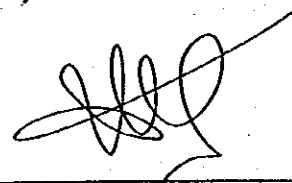
Witnessed by



Dr. KUSUO HITOMI  
President  
Showa Women's University



Dr. DANG VAN BAI  
Director  
Conservation and Museology Department  
Ministry of Culture and Information



Dr. DUONG DUC UNG  
Director General  
Foreign Economic Relations Department  
Ministry of Planning and Investment

## ATTACHED DOCUMENTS

### 1. Project Design Matrix (PDM)

Both sides agreed that the Project Design Matrix (PDM), which is shown in ANNEX I, will be used as a guideline for the implementation, monitoring and evaluation of the Project. Both sides also confirmed that, when necessity arises, the PDM could be modified within the range of the Master Plan of the Project which is attached to the Record of the Discussions for the Project with the approval of the Project Management Unit.

### 2. Tentative Plan of Operations for the Whole Period (PO)

Both sides confirmed the Tentative Plan of Operations for the Whole Period (PO) which is shown in ANNEX II and III. Both sides also confirmed that the Annual Plan of Operations for each Japanese Fiscal Year will be formulated based on this Tentative Plan of Operations for the Whole Period (PO) by the Project Management Unit.

### 3. Project Implementation Structure

Both sides confirmed the Project Implementation Structure which is shown in ANNEX IV.

4H. 7.5  
6

2

## PROJECT DESIGN MATRIX (PDM)

PROJECT DESIGN MATRIX (PDM)		Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
<p><b>Narrative Summary</b></p> <p><b>Overall Goal</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Prevention of vanishment of Vietnamese traditional housing and preservation of cultural assets</li> </ul> <p><b>Project Purpose</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Improvement in provincial cultural asset protection administration and cultural asset restoration quality.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Vanishment of traditional housing</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>Announcement of Ministry of Culture-Information.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Self-motivated continuance of project on the part of the Vietnamese side</li> <li>Advancement of research in the field of Vietnamese historical housing by the architecture universities in Vietnam.</li> <li>Effort put in by the provincial Department of Culture-Information in the area of preservation administration.</li> <li>Reflection of the results of training on restoration plan produced by the provincial Architecture Planning Office.</li> <li>Reflection of the results of training on restoration work carried out by provincial building contractor</li> </ul>		
<p><b>Outputs</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Completion of one good model of historical housing restoration per province in six provinces.</li> <li>Improvement in ability and know-how of provincial cultural asset protection administrators and cultural asset restoration specialists.</li> </ul> <p><b>Activities</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Transfer of restoration technique and know-how by carrying out restoration of one house per province in six provinces.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Number of hours being newly registered as important cultural asset restorations.</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>Announcement of Ministry of Culture-Information.</li> <li>Observation by specialists.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Continued employment of personnel who have participated in the training program.</li> </ul>		
<p><b>Target group:</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>Ministry of Culture-Information</li> <li>The officer in charge of cultural assets in provincial Department of Culture-Information</li> <li>Center for Cultural Building Design and Monument Restoration</li> <li>Hue Monuments Conservation Center</li> <li>Provincial Architecture Planning Office</li> <li>Chief carpenter of provincial building contractor</li> <li>Teaching staffs of architecture universities (those who wants to participate)</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>Holding of training seminar</li> <li>Drawing up of records related to restoration.</li> <li>Confirmation of degree of understanding of the target group (by carrying out tests etc.)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Record of the project</li> <li>Grading of the results by specialists.</li> </ul> <p><b>Inputs: Japanese side</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Specialists: General management and planning 1 person/year short-term 7 days X 2</li> <li>Planning and coordination 1 person/year short-term 7 days X 2</li> <li>Restoration plan : 1 person/year short-term 7 days X 2</li> <li>Restoration supervision: 1 person/year short-term 7 days X 3</li> <li>Teaching material: Restoration of 2 houses/year X 3 years Cover for part of restoration cost.</li> <li>Training of local cultural asset restoration specialists: 2 persons X 4 months X 3 years</li> <li>Training of staffs of local architecture universities etc.: 5 persons X 1 week X 3 years</li> </ul> <p><b>Inputs: Vietnamese side</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Trainers: 30 persons X 1 week X 3 years (Invite from provinces)</li> <li>Organization and Management cost: Restoration work 2 houses/year X 3 years Training seminar 2 times/year X 3 years</li> <li>Teaching material: Restoration of 2 houses/year X 3 years Cover for part of restoration cost</li> <li>Trainers: 30 persons X 1 week X 3 years (Invite from provinces)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Selection of appropriate counterpart and trainees by the Ministry of Culture-Information</li> </ul> <p><b>Preconditions</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Availability of houses to be restored.</li> <li>Designation as important cultural asset prior to restoration work.</li> <li>Concluding of restoration work assignment agreement between the residents and the Ministry of Culture-Information.</li> <li>Share of the restoration cost burden by the Vietnamese government.</li> <li>Share of the restoration cost burden by the residents.</li> </ul>		

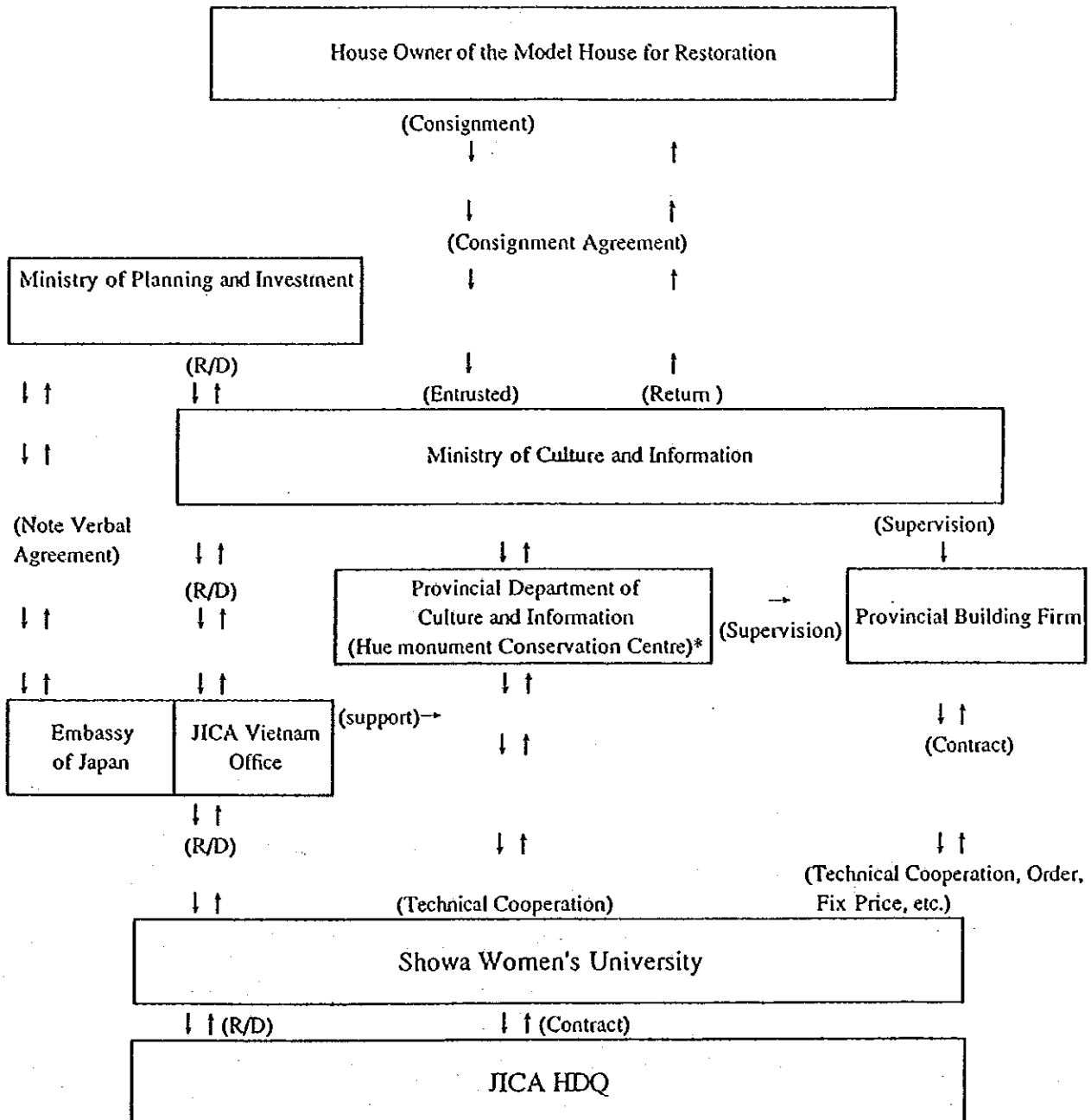
## TENTATIVE PLAN OF OPERATIONS FOR THE WHOLE PERIOD (PO)

Project Output	No.	Content of Activities and Method of Approach	Period of Activity (For Each Fiscal Year)														
			1999			2000			2001			2002					
			I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV			
Thua Thien Hue Province Completion of one good model of historical housing restoration in Thua Thien Hue Province. Improvement in ability and know-how of cultural asset protection administrators and cultural asset restoration specialists in Thua Thien Hue Province. Bac Ninh Province Completion of one good model of historical housing restoration in Bac Ninh Province. Improvement in ability and know-how of cultural asset protection administrators and cultural asset restoration specialists in Bac Ninh Province.	1	Carry out meeting with Ministry of Culture and Information and the departments of Culture and Information of Thua Thien Hue Province and Bac Ninh Province. Confirmation of residents, trainees, and schedule. Detailed survey of house to be restored, resident interview, and determination of invitation list. Plan for restoration and plan for modernizing dwelling condition. Obtain cost estimation, select building contractor, and confirm cost burden ratio. Transfer restoration technique and know-how.(Training of Hue Monuments Conservation Center and Center for Cultural Building Design and Monument Restoration) Training Seminar															
	2-4																
	1																
	3-6																
	2-3																
	5-6																
Nghé An Province Completion of one good model of historical housing restoration in Nghé An Province. Improvement in ability and know-how of cultural asset protection administrators and cultural asset restoration specialists in Nghé An Province. Doong Nai Province Completion of one good model of historical housing restoration in Doong Nai Province. Improvement in ability and know-how of cultural asset protection administrators and cultural asset restoration specialists in Doong Nai Province.	1-6	Carry out meeting with Ministry of Culture and Information and the departments of Culture and Information of Nghé An Province and Doong Nai Province. Confirmation of residents, trainees, and schedule. Detailed survey of house to be restored, resident interview, and determination of invitation list. Plan for restoration and plan for modernizing dwelling condition. Obtain cost estimation, select building contractor, and confirm cost burden ratio. Transfer restoration technique and know-how.(Training of Center for Cultural Building Design and Monument Restoration) Training Seminar															
	1																
	2-4																
	1																
	3-6																
	2-3																
Nam Dinh Province Completion of one good model of historical housing restoration in Nam Dinh Province. Improvement in ability and know-how of cultural asset protection administrators and cultural asset restoration specialists in Nam Dinh Province. Quang Ngai or Tien Giang Province Completion of one good model of historical housing restoration in Quang Ngai or Tien Giang Province. Improvement in ability and know-how of cultural asset protection administrators and cultural asset restoration specialists in Quang Ngai or Tien Giang Province.	1-6	Carry out meeting with Ministry of Culture and Information and the departments of Culture and Information of Nam Dinh Province and Quang Ngai or Tien Giang Province. Confirmation of residents, trainees, and schedule. Detailed survey of house to be restored, resident interview, and determination of invitation list. Plan for restoration and plan for modernizing dwelling condition. Obtain cost estimation, select building contractor, and confirm cost burden ratio. Transfer restoration technique and know-how.(Training of Center for Cultural Building Design and Monument Restoration) Training Seminar															
	1																
	2-4																
	1																
	3-6																
	2-3																
5-6																	

TENTATIVE PLAN OF OPERATIONS FOR THE WHOLE PERIOD (PO)  
(WORK SCHEDULE AND REGISTER OF THE STAFFS)

Field of Work	Name	Site of Work	Period of Activity (For Each Fiscal Year)																	
			99				2000				2001				2002					
			I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV		
General management and planning	Hiromichi Tomoda	Thua Thien Hue and Bac Ninh Province Nghe An and Dong Nai Province Nam Dinh and, Quang Ngai or Tien Giang Province	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Planning and coordination	Mark Chang	Thua Thien Hue and Bac Ninh Province Nghe An and Dong Nai Province Nam Dinh and, Quang Ngai or Tien Giang Province	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Drawing up plan of restoration	Senjiro Masuda	Thua Thien Hue and Bac Ninh Province Nghe An and Dong Nai Province Nam Dinh and, Quang Ngai or Tien Giang Province	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Drawing up plan of modernizing dwelling condition	Masahiko Shinozaki	Thua Thien Hue and Bac Ninh Province Nghe An and Dong Nai Province Nam Dinh and, Quang Ngai or Tien Giang Province	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Supervising restoration work	Akiyoshi Ejima	Thua Thien Hue and Bac Ninh Province Nghe An and Dong Nai Province Nam Dinh and, Quang Ngai or Tien Giang Province	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Supervising restoration work	Yet to be determined	Thua Thien Hue and Bac Ninh Province Nghe An and Dong Nai Province Nam Dinh and, Quang Ngai or Tien Giang Province	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Project Implementation Structure



\* Technical Management and Supervision on Restoration Works.

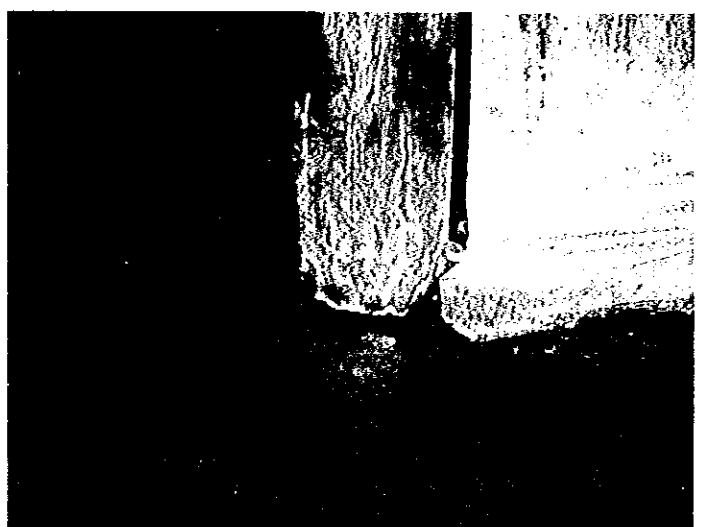
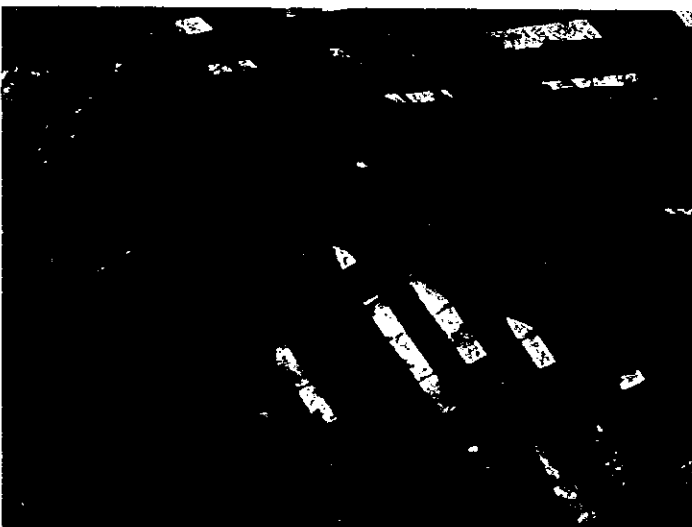
7-3  
B

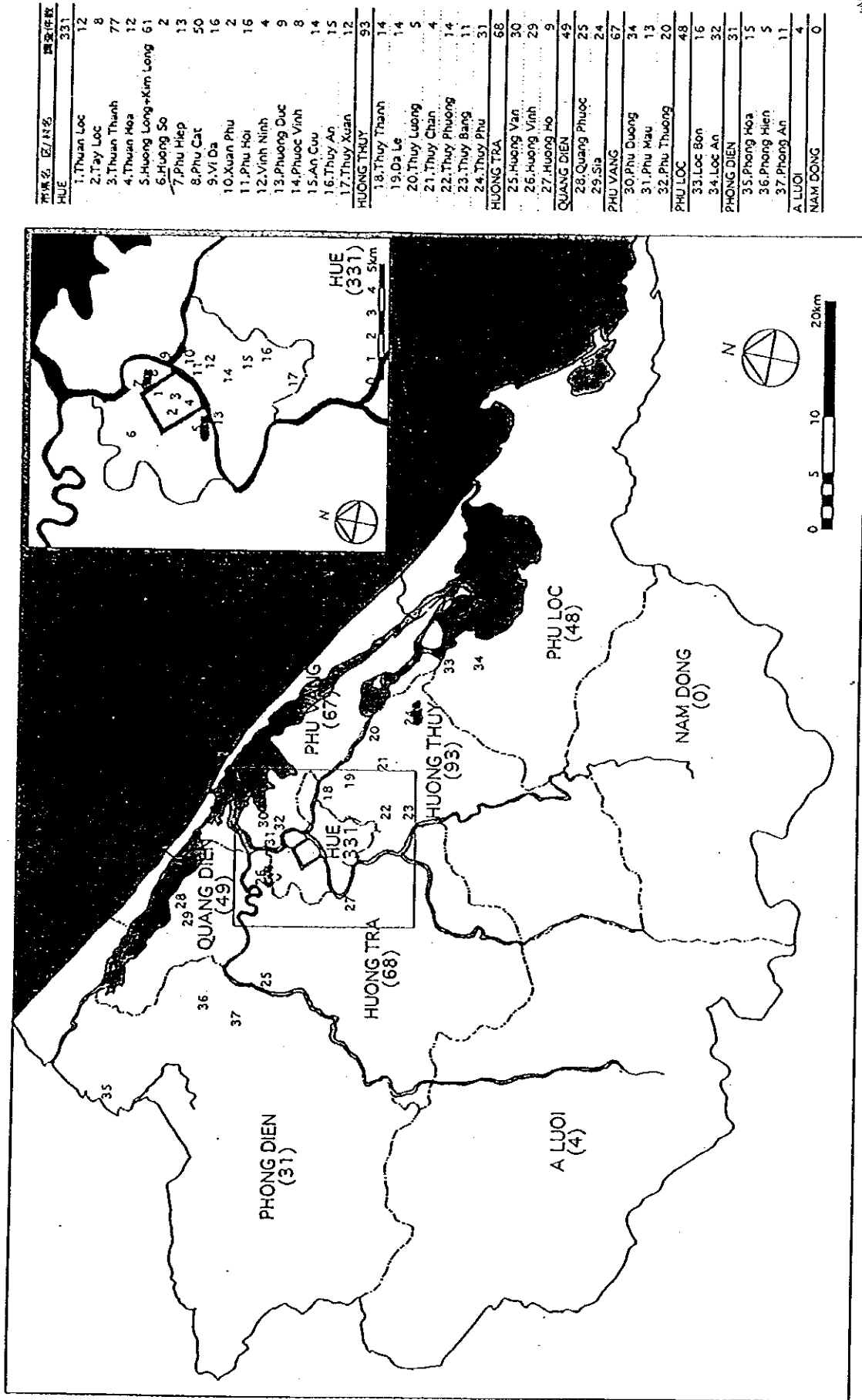
Q

## フエ省修復予定民家の視察：資料 1

1. 視察時の写真
2. トゥアティエンフエ省調査概要  
(参考資料1・2・3-1・3-2)
3. 修復対象候補家屋5件の概要  
(修復予定家屋は、その3 延福長公主祠)







注1：図中の括弧内は各市県内における調査件数  
 注2：右表は各市県内における調査対象区/村と調査件数を示す

図 トウアティエン=フエ省第一次調査対象地域図

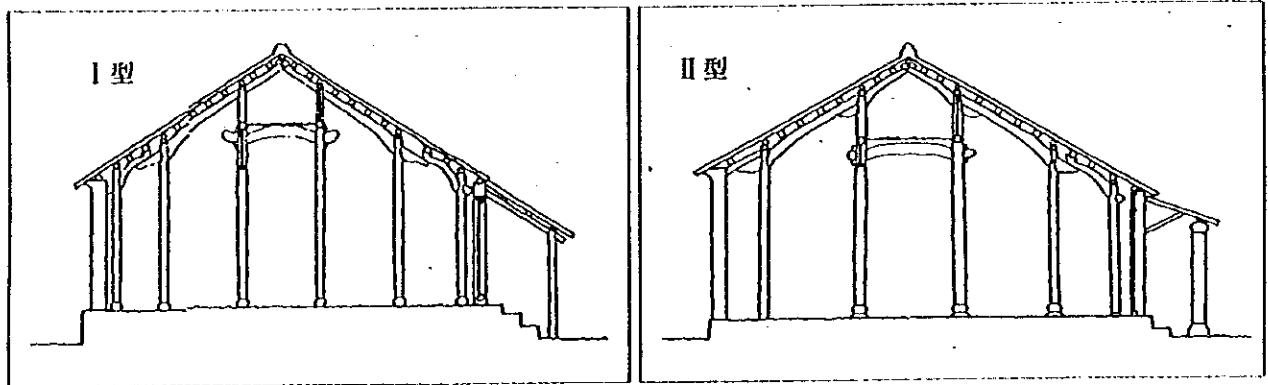


図2.6.架構形式

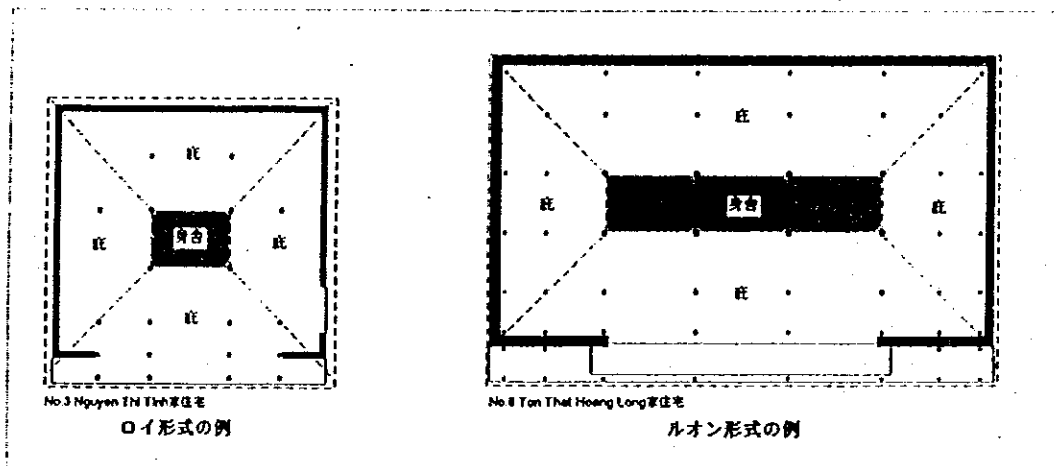


図2.3.平面形式

所在地/市/区	調査番号	調査年度 (氏名)	調査者の職業	方位	形式	長径の単位 単位V10	長径 単位V10	短径 単位V10	長径短径の比率 長径短径	開口 単位V10	外壁	床	調査結果				
TP Huế	Ph.D. 41	Nguyễn Huu Thong	1890頃(伝承)	付設	北	入	平瓦	7.8	ルオン	7×5	11730×8750	3	煉瓦	土間	有	有	
	Th.Th. 50	Nguyễn Phước Vĩnh Dung	1820-1841(伝承)		南	入	平瓦	8.7	ロイ	3×3	9775×9850	-	煉瓦	土間	有	有	
	Ph.D. 26	Le Be Dieu	1850頃(伝承)	御徳時代の大臣	南	入	平瓦	6.5	ロイ	5×5	8875×7825	3	煉瓦	土間	有	有	
	K.L. 60	Nguyễn Hân(延福具公主洞)	1853(推定)	延福洞の長女	南	入	平瓦	5.5	ロイ	7×7	16000×16000	5	煉瓦	土間・床板	有	有	
	Th.A. 33	Nguyễn Ngọc Co	1880(4代目94才)	不明	南	入	平瓦	5.9	ルオン	7×5	11735×8770	7+	煉瓦	土間	有	有	
	V.M. 12	Lưu Thành Viên(流成源)	1889(伝承)	書生	南	入	平瓦	5.8	ルオン	7×4	13545×9500	7	煉瓦	土間	有	有	
	王宮内	59	Trương Du Ta(張鳳亭)	1890年代末		南	入	平瓦	5.3	ロイ	3×3	8580×8475	-	煉瓦	土間	有	有
	A.Ch. 2	Trương Quang Dịch	1900頃(伝承)	地主	北西	入	平瓦	3.4	ルオン	5×4	10620×8220	3	煉瓦	土間	有	有	
	K.L. 47	Le Thi Gal	1900以前(3代目59才)	Le Van Duyetの子孫	南	切	トラン	4.8	-	-	-	-	-	煉瓦	土間	有	有
	Ph.V. 34	Vo Van Oanh	1900頃(3代目39才)	萬方源	北東	入	平瓦	5.8	ロイ	3×5	7600×6310	3	煉瓦	土間	有	有	
	K.L. 43	Nguyễn Thị Ngọc	1900頃(4代目53才)	成泰第7番目の嬢	北東	入	平瓦	8.7	ルオン	7×5	11900×8750	-	煉瓦	土間	有	有	
	K.L. 48	Nguyễn Thị Kim	1900頃(伝承)	萬寶美	南東	入	平瓦	6.8	ルオン	7×5	13450×7720	3	煉瓦	土間	有	有	
	Th.L. 11	U.B.M.T.T.T.Q	1900初め		北東	入	平瓦	6.2	ルオン	7×5	12900×7165	3+	煉瓦	土間	有	有	
	Th.L. 44	Dương Ngọc Khue	1902頃(伝承)	書生	南東	入	平瓦	6.8	ルオン	5×5	11750×6805	3	煉瓦	土間	有	有	
	Ph.H. 3	Nguyễn Thị Thìn	1903(伝承)	書生	東南東	入	平瓦	6.4	ロイ	5×5	7900×6700	3	煉瓦	土間・床板	有	有	
	V.D. 31	Bao Hien Loc	1910頃(伝承)	隆治時代の書生	西	入	平瓦	8	ルオン	7×5	12970×7155	3	煉瓦	土間	有	有	
	Th.A. 1	Trần Ngọc Thạch	1915-20(伝承)		東南東	入	平瓦	5.5	ルオン	5×5	11130×6760	-	煉瓦	土間	有	有	
	K.L. 44	Nguyễn Văn Trọng	1915頃(伝承)	書生	西	入	平瓦	6.2	ルオン	7×5	12320×7080	3	煉瓦	土間	有	有	
	Ph.D. 40	Ngô Thị Kim娥	1916-1924(伝承)	書生	南	入	平瓦	6.3	ロイ	5×5	6525×6070	3	煉瓦	土間	有	有	
	X.Ph. 43	Hoàng Thị Hồng Lan	1924頃(伝承)	隆大時代の書生	西	入	平瓦	7	ルオン	7×5	12950×7820	3	煉瓦	土間	有	有	
	Ph.C. 30	Nguyễn Thị Cam Cuc	1925(4代目54才)	書生・調物を扱う商家	北東	入	平瓦	5.7	-	3×3	6840×7710	3	煉瓦	土間	有	有	
	Th.A. 28	Hoàng Ngọc Anh	1930(伝承)	隆治-隆大時代の書生	南東	入	平瓦	-	ルオン	5×5	-	-	-	煉瓦	土間	有	有
	Th.Th. 19	Trần Tam Bao Ton	1930頃		南東	入	平瓦	ルオン	7×4	-	-	-	煉瓦	土間	有	有	
	V.D. 5	Nguyễn Phước Vĩnh Thap	1935(伝承)	王統	南西	入	平瓦	6.2	ルオン	5×5	11630×6490	3	煉瓦・床板	土間	有	有	
	Th.Th. 4	Le Thị Đan	1936(伝承)	調子	北東	切	平瓦	8	-	3×4	7700×6950	3+	煉瓦	土間	有	有	
	Ph.V. 35	Nguyễn Thị Miêng	不明	白身嬢	東	入	平瓦	6.1	ロイ	5×5	11900×6020	-	煉瓦	土間	有	有	
	Phu Yang	A.Ch. 28	Hồ Đạo	1847-1883(伝承)	隆治時代の書生	東南東	入	平瓦	5.8	ロイ	5×5	9155×9700	3	煉瓦	土間	有	有
		A.Ch. 57	Hoàng Xuân Ke	1900以前(伝承)		西	入	平瓦	6.3	ルオン	7×6	13215×8450	3	煉瓦	土間	有	有
		A.Ch. 56	Đoàn Văn Dung	1900以前(伝承)	酒造り	南西	入	平瓦	6.7	ルオン	5×5	12235×7030	3	煉瓦	土間	有	有
		A.Ch. 27	Nguyễn Thị Lan	1928(4代目71才)	久高書生	西南西	入	平瓦	5.2	ルオン	5×4	13275×7825	3	煉瓦	土間	有	有
		Ph.Th. 42	Tôi Nữ Bích Tru	1937(皇統御方)	隆大時代のワオ-ス宮知事	西	入	平瓦	5.5	ルオン	7×5	13780×7720	3	煉瓦	土間	有	有
		A.Ch. 20	Trần Đình Kham	1938(7才)地主が19才に増設		東南東	入	平瓦	5.6	-	3×5	7100×4900	3	煉瓦	土間	有	有
		A.Ch. 50	Trần Ôn	1943(皇統)	不明	南東	入	平瓦	ロイ	5×5	-	-	-	煉瓦	土間	有	有
		A.Ch. 55	Hồ Đạo Thuận	1950頃(伝承)	隆治り-隆大	南東	切	平瓦	-	3×2	-	-	-	煉瓦	土間	有	有
		Ph.Th. 54	Nguyễn Khoe Bô Lan	1952以前(伝承)	紳人	西	入	平瓦	6.2	ルオン	5×3	12480×8275	3	煉瓦	土間	有	有
A.Ch. 20		Hồ Văn Bê	不明		南東	入	平瓦	6.1	ルオン	5×4	10470×5690	3	煉瓦	土間	有	有	
T.T. 13		Ung Bình Thuận Già TH	不明		南西	入	平瓦	5.3	ルオン	7×5	14250×9480	7	煉瓦	土間	有	有	
Hương Thủy		Th.P. 26	Phan Thị Chua	1850(伝承)	村の領主	南東	入	平瓦	7	ルオン	7×5	12380×6980	3	煉瓦・床板	土間・床板	有	有
		Th.Ph. 6	Le Ngut	1910以前(伝承)	農夫	南東	入	平瓦	5.4	ルオン	7×6	12550×7955	3	煉瓦・床板	土間	有	有
		Th.L. 7	Hoàng Phước	1920(伝承)	隆ベトナム時代の公務員	東南東	入	平瓦	6.1	ルオン	7×5	12040×6420	3	煉瓦	土間	有	有
Hương Tré	H.V. 8	Tan Thị Hoàng Long	1900頃(伝承)	書生	東南東	入	平瓦	6.7	ルオン	7×5	13990×8060	7	煉瓦	土間	有	有	
	H.V. 10	Nguyễn Đăng Đình	1929(隆礼・隆大)		北	入	平瓦	7	ロイ	5×5	7470×6730	5	煉瓦	土間	有	有	
	H.V. 9	Dương Công Chiến	不明		南東	入	平瓦	6.2	ロイ	3×5	6770×5480	3	煉瓦・小煙囪	土間	有	有	
Phong Điền	Ph.H. 14	Hồ Thị Thạch Ngà	1900頃(伝承)		南東	入	平瓦	6.3	ルオン	7×6	14250×8730	3	煉瓦・床板	土間	有	有	
	Ph.H. 16	Lê Trọng Bô	1844(1897年生)去れ初代が42才に増設		東南東	入	平瓦	6.6	ルオン	7×6	-	-	煉瓦	土間・床板	有	有	
	Ph.H. 17	Lê Trọng Tài	1847頃(No.1625)後に増設, 3年4才で増設		北東	入	平瓦	6.6	ルオン	7×6	12590×8125	3	煉瓦・床板	土間	有	有	
	Ph.H. 18	Lê Thị Hoa	1900以前(4代目56才)		南南西	入	平瓦	5.8	ルオン	7×6	12560×7785	3	煉瓦	土間	有	有	
	Ph.H. 15	Trương Thị Thế	1900頃(4代目71才)		南	入	平瓦	6	ルオン	7×6	13240×8610	3	煉瓦・煙囪	土間	有	有	
Quang Điền	S. 36	Le Thi Dung	1900頃(伝承)		南	入	平瓦	6	ルオン	7×5	12850×7730	3	煉瓦	土間	有	有	
	S. 37	Nguyễn Tô	1900以前(伝承)	農夫	北西	入	平瓦	6.8	ロイ	3×5	7400×7000	3	煉瓦	土間	有	有	
	Q.Ph. 21	Ngô Văn Hà	1900頃(伝承)		南西	入	平瓦・早瓦	5.6	ルオン	7×5	13320×7365	7	煉瓦	土間	有	有	
	S. 22	Hoàng Hoa	1900頃(4代目73才)	農夫	北東	入	平瓦	6	ルオン	7×5	12170×6590	5	煉瓦	土間	有	有	
	Q.Ph. 19	Nguyễn Bê	1900大改築, 新築河原	農夫	西南西	入	平瓦・早瓦	5.8	ルオン	5×5	12885×7315	5	煉瓦	土間	有	有	
	Q.Ph. 20	Ngô Thọ Sơ	不明		南西	入	平瓦・早瓦	6.5	ルオン	7×5	12230×6805	5	煉瓦	土間	有	有	
Phu Lạc	L.B. 25	Nguyễn Văn Tô	1911(父が110才)43才時に増設		東南東	入	平瓦	6.9	ルオン	7×5	11005×5915	-	煉瓦	土間	有	有	
	L.A. 52	Lê Văn Ngát	1920(5代目61才)	萬方源	南	入	平瓦	ロイ	3×5	-	-	煉瓦	土間	有	有		
	L.A. 51	Lê Minh Phan	1933(伝承)	萬方源	南	入	平瓦	4.7	ルオン	5×5	12380×6930	6	煉瓦	土間	有	有	
	L.A. 23	Hoàng Thị Bạch Yến	1937以前(伝承)	フエ市の機織手	南	入	平瓦	5.3	ルオン	7×5	11985×6200	5+	煉瓦・床板	土間	有	有	
	L.B. 53	Nguyễn Văn Hoa	1940以前(伝承)		南	入	平瓦	6.7	ルオン	5×5	12230×6615	3	煉瓦	土間	有	有	
	L.B. 24	Nguyễn Thị Cúc	不明	地主	東南東	入	平瓦	7.6	ルオン	7×6	12745×7510	3	煉瓦	土間	有	有	

表2.2. 日本側調査一覧

参考資料 3-2

所在地 村	調査 No.	建物 種類	用途 用途	正確寸法		往南寸法(尺)				往南寸法(口)				面積・材料 平米/立方	備考				
				縦	横	0	1	2	3	0	1	2	3						
TTP Hie	41	II	有	185	---	1380	1820	1930	1619	780	800	1060	2700	2740	Kien Kien				
	50	I	有	260	4150	---	2620	3160	2680	---	2900	---	---	---	---	---	瓦葺に傾斜した建物。1968屋根葺き替え		
	59	I	有	165	3900	---	1045	1610	1640	1155	1180	1079	1620	---	1560	mb/Kien Kien	1940ころ瓦葺を上げる。屋根の修理		
	60	II	有	17250	約3100	---	約2100	約2700	約3150	約2700	約2150	約2700	---	---	---	---	瓦葺の建物		
	33	I	改修	有	200	---	1178	1580	1655	1578	1170	1170	1570	2710	2720	Kien Kien	*1916年モヤ正面にコロニアル小屋を建設		
	12	I	有	189	3818	---	1240	1530	1720	1610	1230	1300	1612	2225	2260	mb/Kien Kien			
	59	II	有	255	4220	---	---	3750	3030	2895	---	---	2275	---	3500	mb/Kien Kien	農大府の存続の区画		
	47	I	有	200	3875	119	1050	1500	1615	1515	700	---	---	2260	2360	mb	約置切築木柵付瓦		
	34	I	有	185	3590	---	860	1385	1400	1580	925	---	2278	---	2435	mb/Kien Kien	1956年屋根瓦を瓦を切り替りに、板瓦→波瓦葺き。基壇を上げる。1968屋根改修		
	45	I	有	170	3450	260	1280	1720	1810	1740	1240	1290	1750	2570	2730	mb/Kien Kien	1936登記簿有り		
	46	I	有	170	3450	340	1090	1455	1575	1470	1030	1110	1175	2395	2430	mb/Kien Kien	最初ヒンコン無し		
	11	II	有	180	3815	---	1015	1460	1522	1490	1470	1385	1455	2380	2385	mb	瓦葺に傾斜した建物。1968屋根葺き替え		
	48	I	有	170	3770	---	365	1510	1530	1520	740	---	2400	2100	2130	mb	瓦葺に傾斜した建物。1968屋根葺き替え		
	3	I	有	160	3510	---	900	1500	1600	1500	1200	1100	1450	2300	---	---	---		
	31	I	有	170	3740	---	979	1310	1575	1470	870	1000	1480	2090	2230	mb/Kien Kien			
	1	II	有	185	3710	350	1000	1550	1600	1550	710	---	2405	2290	2300	mb/Kien Kien	Quang Dienから建築材料を搬入。ヒンコンを切り取る		
	44	I	有	165	3500	---	1000	1310	1555	1495	850	---	2405	2395	2445	mb/Kien Kien	1968大改修		
	49	I	有	180	---	---	1100	1550	1610	1630	1550	---	1570	---	1610	mb	1983屋根葺きの修理		
	43	I	有	175	3750	265	970	1500	1590	1530	1150	990	1480	2260	2290	mb/Kien Kien	1993ヒンコンを切り取る。1968年中で壊損したため大修理を行う		
	32	II	有	200	3660	---	1418	1780	1870	1760	---	---	---	1940	1685	mb/Kien Kien	町屋		
38	I	有	220	3780	---	---	---	1750	---	---	---	---	---	---	Kien Kien	1985屋根葺きの修理			
49	II	有	229	3900	---	---	---	1800	---	---	---	---	---	---	mb	福地地蔵が伝統文化の保存をうめ、伝説住老のモデルとして建設			
5	I	有	170	3560	210	940	1300	1350	1300	735	---	1980	2270	2280	mb/Kien Kien				
4	II	有	190	3510	---	900	1370	1400	1340	---	---	2000	2140	---	---	---	*前面片側コロニアル木柵付瓦		
55	I	有	160	3460	---	870	1275	1340	1285	900	880	1270	---	2300	mb/Kien Kien/tr	1918Quang Dienから移築(20世紀前半の建物?)			
Phu Yang	28	II	有	185	3920	---	1085	2125	2410	2160	1075	970	1900	---	2165	mb	氏家の邸		
	57	I	有	190	3950	---	1320	1720	1730	---	---	2100	2650	2660	---	Kien Kien	1998屋根葺き替え。1997大改修葺き替えと瓦葺を20cmほど上げる。		
	58	II	有	175	3515	285	980	1255	1340	1215	950	---	2205	2250	2360	mb/Kien Kien/tr	1968瓦葺を波瓦をセメントに。1972屋根葺き替え		
	27	II	有	185	3870	---	1255	1720	1800	1720	790	---	2520	2620	2840	mb/mb/Kien Kien	1930頃Hue市Phu Hiep区から移築		
	47	I	有	190	4030	290	1140	1510	1620	1540	1140	---	2650	2545	2550	mb/Kien Kien	1993屋根葺き替え。瓦葺を波瓦をセメントに		
	29	I	有	---	---	---	---	---	---	---	---	---	2280	2250	2340	---	---	付瓦葺。中住りに住(中住)フット。瓦葺基壇は水音初めのためTTCと高い	
	56	I	有	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	瓦葺(中住)付		
	55	I	有	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	付瓦葺。中住りに住(中住)		
	54	II	有	230	4000	---	---	1950	2030	1900	---	---	1885	2090	2720	mb/Kien Kien/tr	1962間村内から移築し付瓦葺に。		
	30	I	有	175	3410	---	930	1300	1390	1280	---	---	2440	2030	2230	---	---	付瓦葺。	
17	II	有	210	4520	---	1500	1950	2040	1970	1550	1530	1950	2210	2280	---	---			
Huong Thy	26	I	有	175	3870	550	925	1300	1300	1300	950	960	1290	2380	2400	---	1968瓦葺を上げ前室に増築。1954一部屋根葺き。ヒンコン改修		
	8	II	有	180	3570	---	1080	1290	1365	1290	1030	1030	1300	2400	2400	---	---		
	7	I	有	190	3800	330	985	1255	1380	1280	900	985	1250	2280	2285	---	---		
Huong Tri	9	I	有	190	3820	---	1120	1620	1650	1630	1120	1140	1600	2580	2580	mb	氏家の邸。棟札「保大十四年」 <small>棟</small> 「保大四年重」		
	10	II	有	185	3080	---	900	1490	1610	1470	910	900	1530	---	2380	---	---		
	9	I	有	160	3330	---	850	1150	1250	1150	950	---	2100	---	2200	---	---	最初瓦葺は木葺	
Phong Dien	14	I	有	195	3950	---	1120	1650	1750	1670	1125	1150	1875	2590	2615	---	1889年父の父が村長より購入。1983瓦葺。屋根葺き改修。1997屋根葺き替え。		
	16	II	有	170	3820	---	1180	1550	1750	---	---	---	2570	2630	---	---	当初瓦葺。板瓦正面のみ竹筒代。土間・木柵付		
	17	I	有	190	3795	---	1060	1480	1600	1470	1010	1050	1430	2360	2370	---	1944より後タインホアゴアゴから移築。当時瓦葺と板瓦。1980年屋根葺き		
	18	I	有	170	3450	---	1000	1410	1520	1410	1075	1019	1409	1850	2310	---	--->	板瓦葺の葺き替え。1970年年初改修を挿入	
15	I	有	155	3730	---	1140	1645	1700	1600	1160	1090	1635	2570	2600	---	---	最初土間・木柵付		
Quang Dien	36	I	有	190	3600	---	1100	1500	1500	1150	1100	1500	2400	2400	mb/Kien Kien	1900頃Thanh Hoaより移築。大きな改修無し			
	37	I	有	190	3600	---	1000	1500	1600	1500	1000	---	2300	---	2400	---	---	mb/Kien Kien	
	21	II	有	190	3755	---	1000	1630	1430	970	1070	1685	2505	2550	---	---	mb	氏家の邸。1970屋根葺き替え。壁の位置移動。	
	22	I	有	190	3580	---	1150	1515	1560	1500	---	---	2400	2410	2440	---	---	---	
	19	II	有	200	3715	---	1050	1500	1625	1500	900	---	2350	2370	2390	---	---	mb	氏家の邸。*新築河原(4回改修。1997柱・瓦葺・瓦葺等大改修)
20	I	有	190	3630	---	880	1470	1540	1260	930	1085	1445	2215	2250	---	---	---	氏家の邸	
Phu Loc	25	I	有	150	3200	510	860	1120	1190	1120	855	---	1975	2225	2255	mb/Kien Kien			
	52	I	有	180	3490	450	1000	1300	1350	1300	1000	---	---	2400	2800	---	---	mb	未修理・未改修
	51	I	有	---	---	---	360	950	1325	1420	---	---	2270	2390	2375	---	---	mb/Kien Kien	未修理・未改修
	23	-I	有	170	3760	235	1070	1240	1260	1270	1010	890	1230	2355	2360	---	---	Kien Kien	*約2室にヒンコン。1937間村内から移築。移築時に板瓦から瓦葺に。1959年屋根葺き
	53	I	有	190	3100	---	1200	1270	1340	1285	1100	970	1250	2350	2360	---	---	mb/Kien Kien	ヒンコン改修
24	I	有	160	3430	690	1160	1325	1365	1330	1310	1150	1320	2480	2520	---	---	mb/Kien Kien	最初氏家の邸。1950頃間住りの部一筋葺き。1975瓦葺改修。1980頃ヒンコン・瓦改修。	

表 2.2. 日本調査一覽

## トウアティエン＝フエ省の推薦民家 その1

所有者名	Ngo Thi Chau (Phan Thi Chau)
所在地	Thon9, Xa Thuy Phu, Huyen Huong Thuy(フオンクイー県トクイー7-村9組) (フエ空港から南へ車で10～20分)

推 薦 理 由
1. オモヤだけでなく、ヨコヤ・ハンヤも残る。また、木造の門も残っている。木造の門は珍しく一昨年度の調査では60例中2例であった。
2. ルオン型では中規模に属する。柱径が比較的細く、柱間も比較的短いことなどから軽快な感じを与える建物である。
3. 身舎の後方は床が張られている。調査ではかつて床があったという話をたびたび聞いたが、完全な形で現存する民家は少数であり貴重である。
4. 母屋内の家具類も非常に良く残っており、民俗学的見地などからも重要な資料といえる。
5. オモヤ・ヨコヤについてはヒエンが改造されているが、それ以外の大きな改造はない。保存状態も良好である。

### 基礎的データ

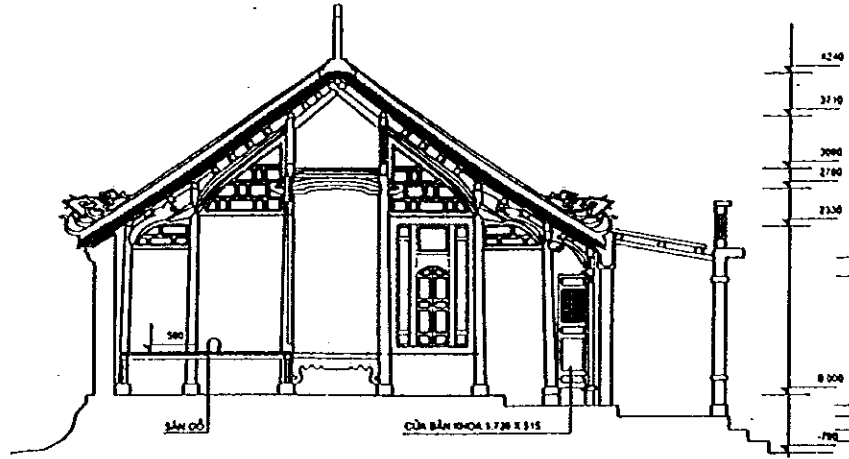
#### 1. オモヤについて

建築年代	1859	その根拠	伝承
建築時の家業	富農/Chuc Ba Ho cua Lang		
規 模	7×5間(12380×6980mm)		
平面形式	ルオン型	架構形式	I型
保存状態	良好		
改造状況	1909 壁際の屏を窓に替える。 1961 ヒエンを改造し現在の形に替える。		

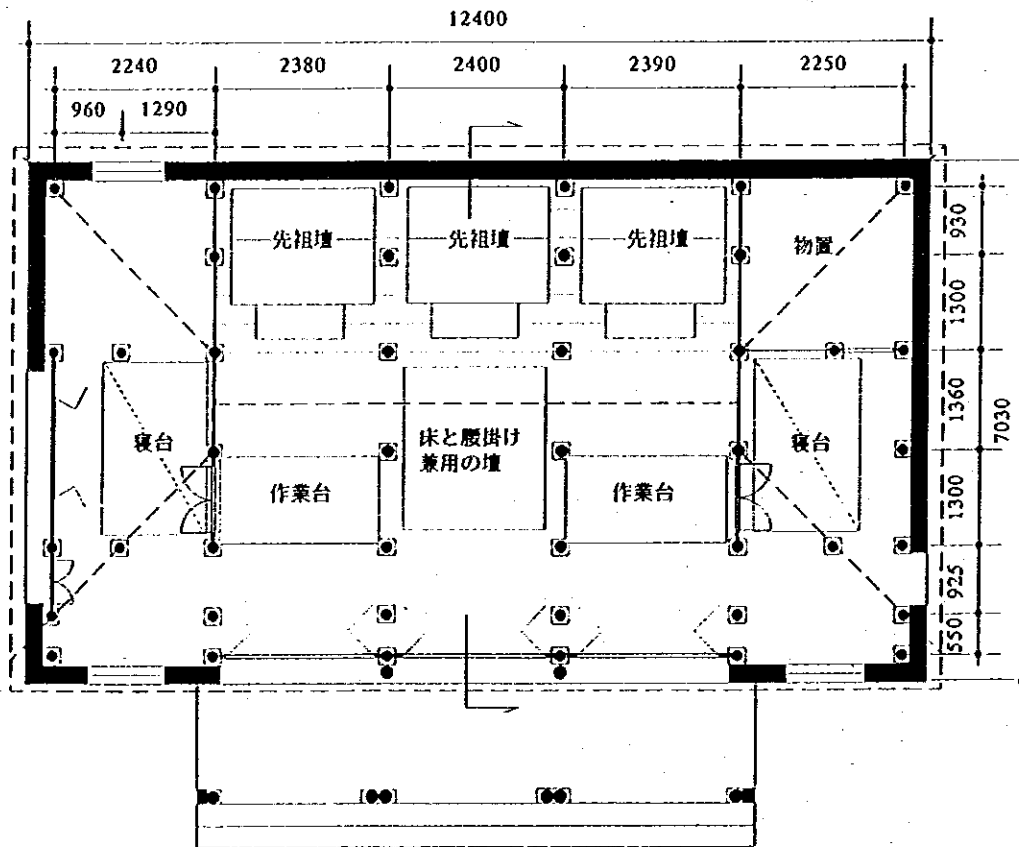
#### 2. 敷地(オモヤ以外について)

	有無	保 存 状 況
ヨコヤ	○	良。
ハンヤ	○	良。身舎柱を省略する独特な構造。ハンヤを日常の居住空間としている(現在)。
釜屋	×	基礎のみ残る?
門	○	風化が進む。木造。入母屋の屋根を持つ。二脚門のため安定性に欠き、現在はつつ替え棒で補助している。
その他		ピンフォンの一部が残る。祠・畑あり

その1



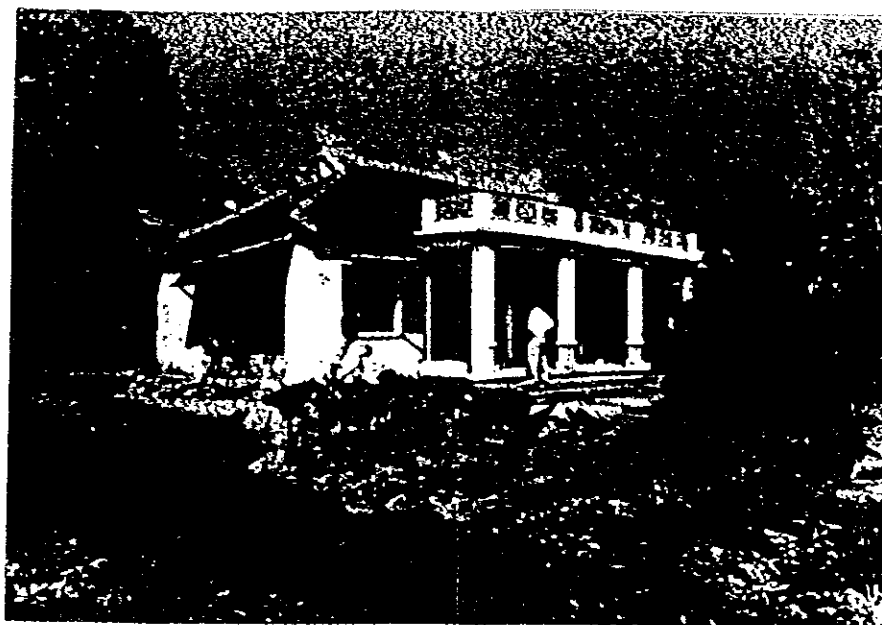
断面図



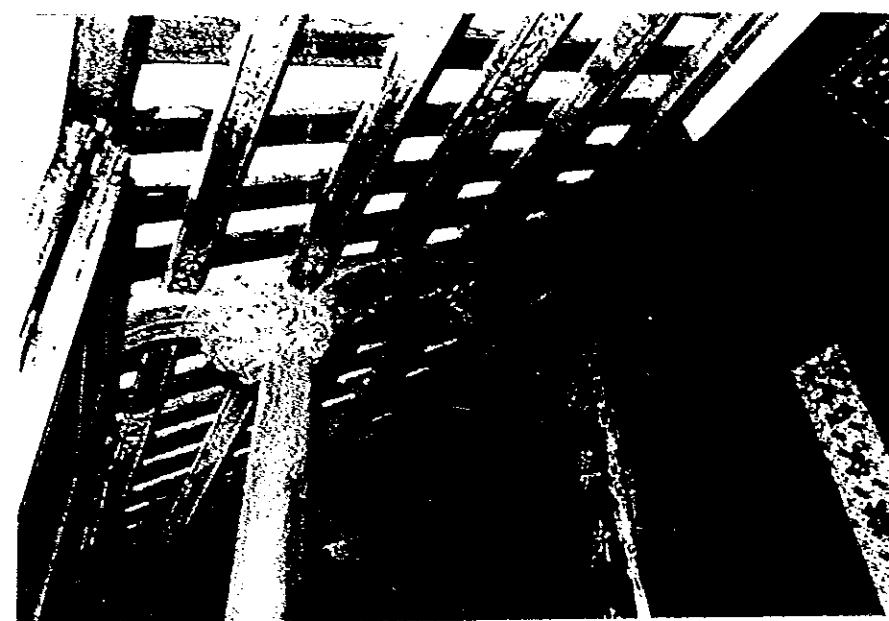
平面図

図2.10. No.26 Ngo Thi Chau住宅 平面図・断面図

居住者名 *Ngô Thị Chán*  
 所在地 *Thôn 9, Xã Thủy Phù,*  
 建築年代 *1859 (伝承) Hương Thủy*



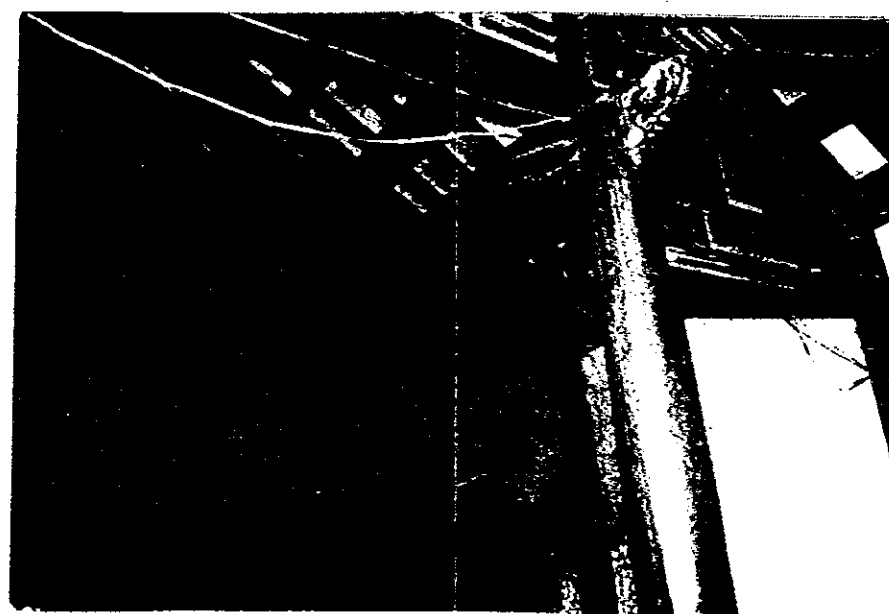
オモヤ



オモヤ



オモヤ



オモヤ



内



ハシヤ



ヨコヤ



## トウアティエン＝フエ省の推薦民家 その2

所有者名 Ton That Hoang Long

所在地 Xa Huong Van, Huyen Huong Tra(フオンチャー県フオンヴァン村)

(フエ市内から北西へ車で40～50分)

推 薦 理 由
1. オモヤ・ヨコヤ・ハシヤが残り、加えてピンフォン・門も残る大変貴重な例である。
2. オモヤはルオン型の中では大規模な部類に属する。柱の省略が無く、柱径は比較的太く、重厚な感じを与える建物である。
3. 切妻のハシヤが一般的であることに対し、当民家のヨコヤはルオン型である。ハシヤも1間四方の大きさがわからないにもかかわらず、入母屋屋根で前面に庇が取り付け。恐らく格式の高さ象徴するのであろう。
4. 後世の改変がほぼ無く、保存状態が良好。
5. 現在老婆が一人で暮らす。今後の保存対策が早急に求められる。

### 基礎的データ

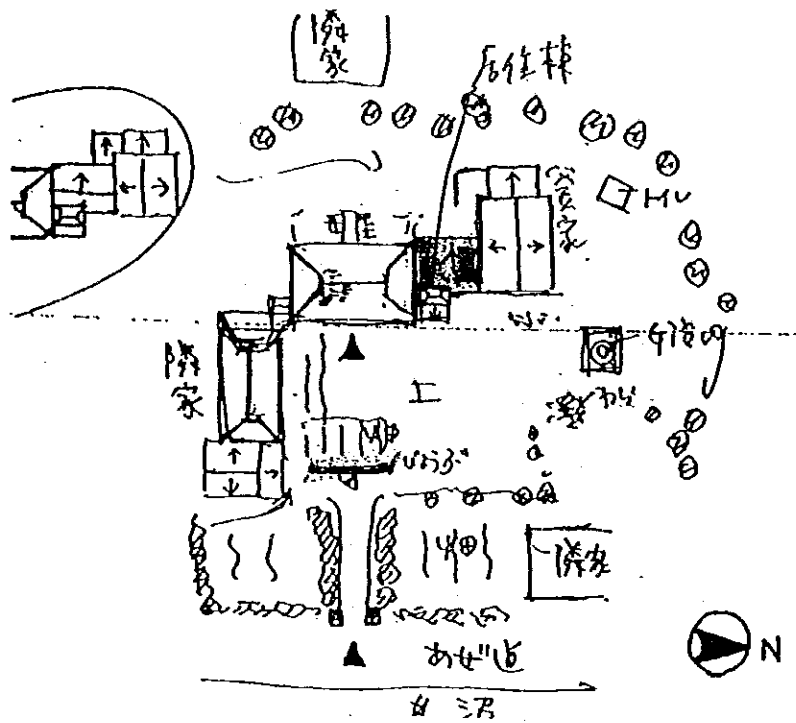
#### 1. オモヤについて

建築年代	不明	その根拠	※嘉隆帝時代というヒアリングデータと100年前ぐらいというヒアリングデータあり。いずれも伝承
建築時の家業	嘉隆帝(在位1802～1820)の宰相というヒアリングデータあり		
規模	7×5間(13990×8000mm)		
平面形式	ルオン型	架構形式	I型
保存状態	良好		
改造状況	1985年に屋根を葺き替える		

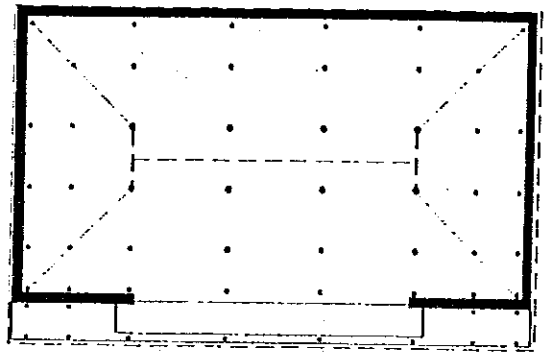
#### 2. 敷地(オモヤ以外について)

	有無	保存状況
ヨコヤ	○	良。但し現在は所有者が異なる。
ハシヤ	○	良。オモヤ両脇に入母屋のハシヤが付く。
釜屋	×	当初のものはなし
門	○	レンガ積み?
その他		ピンフォン・井戸・祠・畑あり

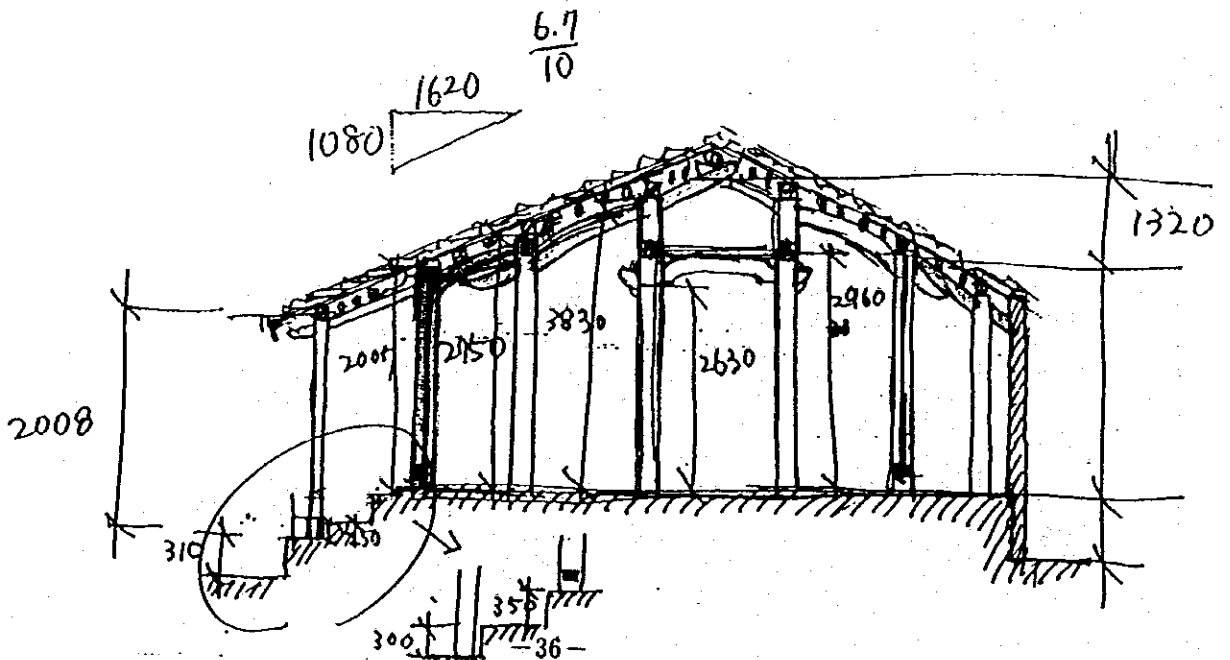
# Tôn Thất Hoàng Long 住宅



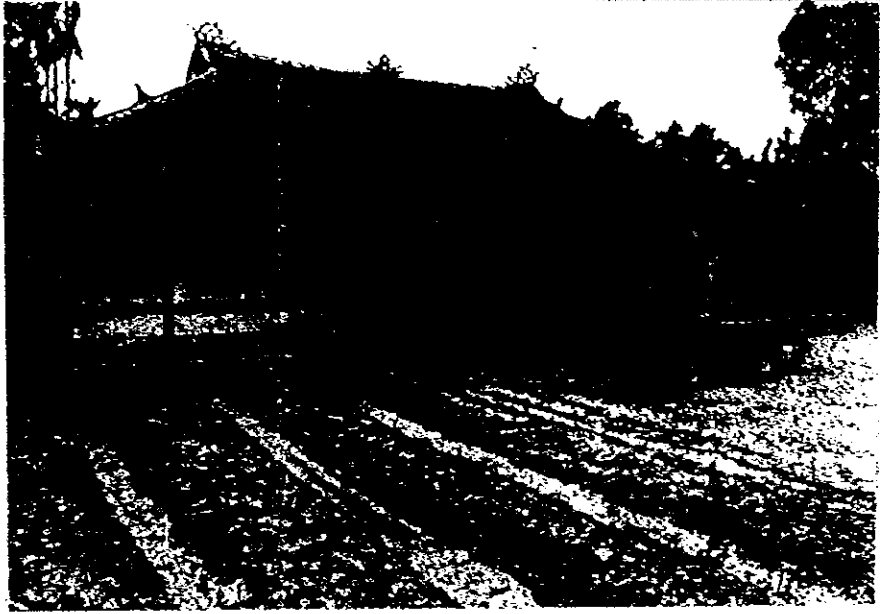
上：屋敷構之  
 中：木ヤ平面  
 下：木ヤ断面



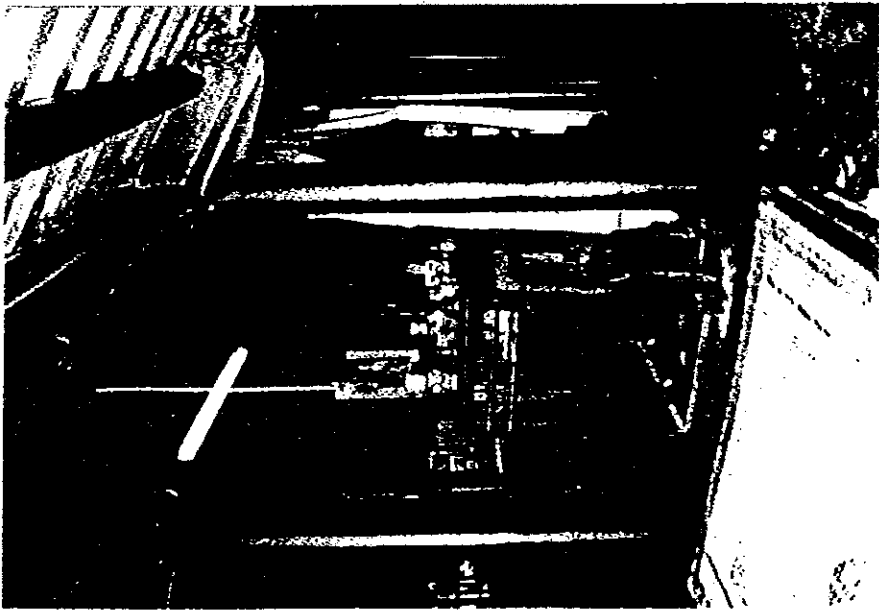
No.8 Tôn Thất Hoàng Long 家住宅



居住者名 *Tôn Thất Hoàng Long*  
 所在地 *Xã Hương Văn, Hương Trà*  
 建築年代 不明 (創建者は嘉隆帝の  
 宰相というヒソリングデータがあるが、要確認)



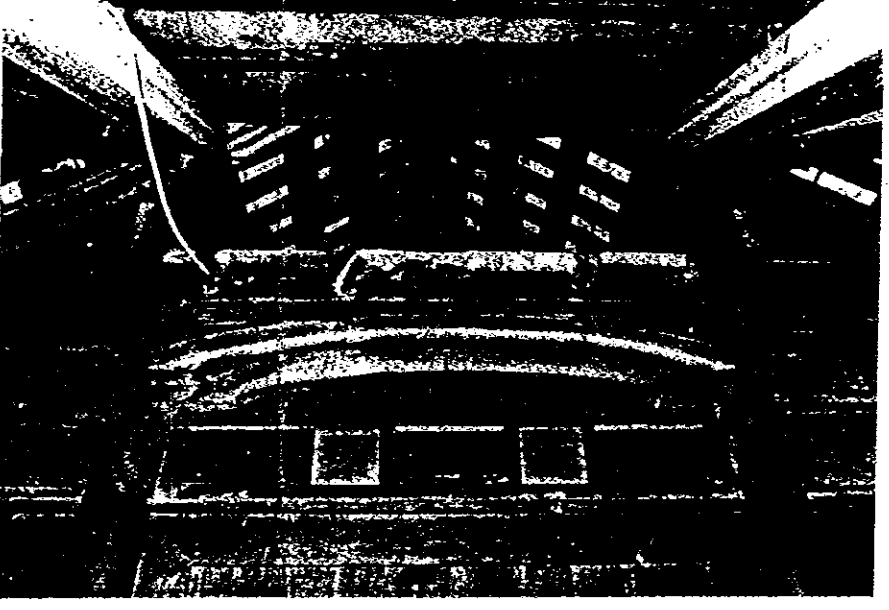
オモヤ



オモヤ



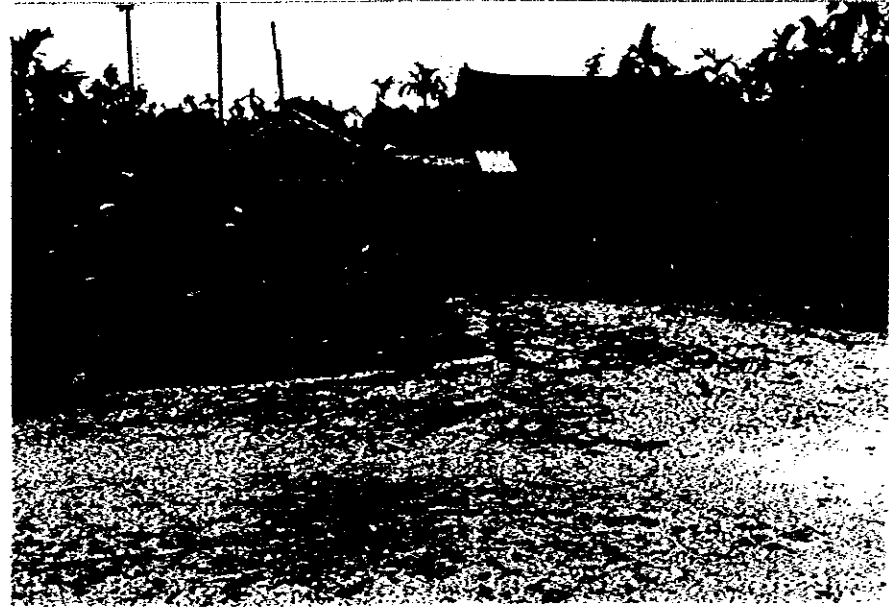
オモヤ



オモヤ



オモヤ



ヨコヤ・ベンフオン



オモヤ・ハシヤ

## トゥアティエン＝フエ省の推薦民家 その3

所有者名 Nguyen Han (延福長公主祠)

所在地 18 Kim Long, TP Hue (フエ市キムロン街区18番地)

(王宮の西隣の街区)

推 薦 理 由
1. トゥアティエン＝フエ省では建築年代が確定できる民家は少数であるが、当民家は棟札が残る希少な存在である。年代が確定できる最も古い民家である。
2. ロイ型の民家では最大規模。柱径・及び長さは他の民家と比較して1.5～2倍程度大きい。
3. 良質の材であるキエンキエンを用いる。
4. 改変もほとんど見られない。
5. 所有者も保存を望んでいる。昨年秋の洪水被害のため破損がひどく、日本に修理協力を求めている。
以上の観点より建築史上重要かつ保存価値の高い民家といえる

### 基礎的データ

#### 1. オモヤについて

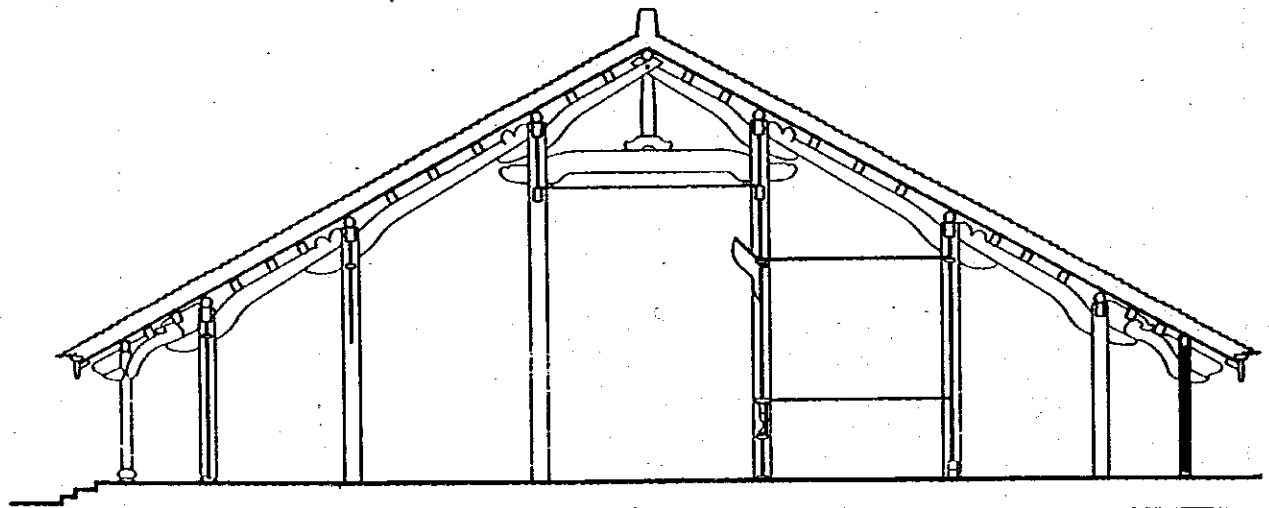
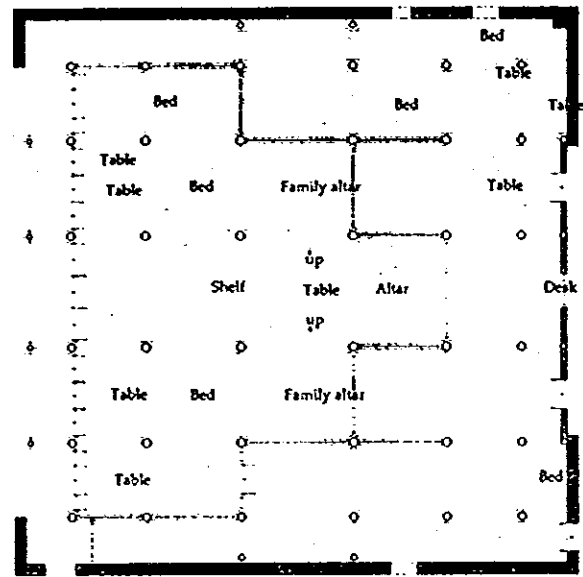
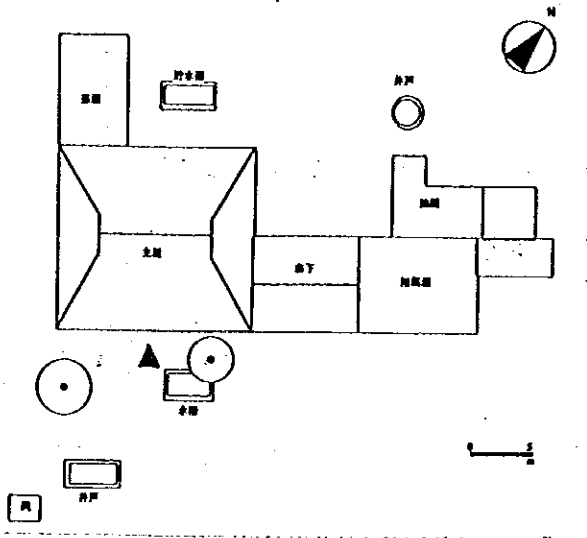
建築年代	1853	その根拠	棟札
建築時の家業	紹治帝の長女のために建設。		
規 模	7×7間 (16000×16000mm)		
平面形式	ロイ型	架構形式	Ⅱ型
保存状態	良い。但し屋根の破損が目立つ。		
改造状況	ほぼなし		

#### 2. 敷地(オモヤ以外について)

	有無	保 存 状 況
ヨコヤ	△	現在のヨコヤは近年建てかえられたもの
ハンヤ	○	吹き放ちのため破損が進行
釜屋	△	現在のヨコヤは近年建てかえられたもの？
門	○	レンガ積み入母屋。屋根の破損が著しい。
その他		井戸・水盤・祠あり

その3

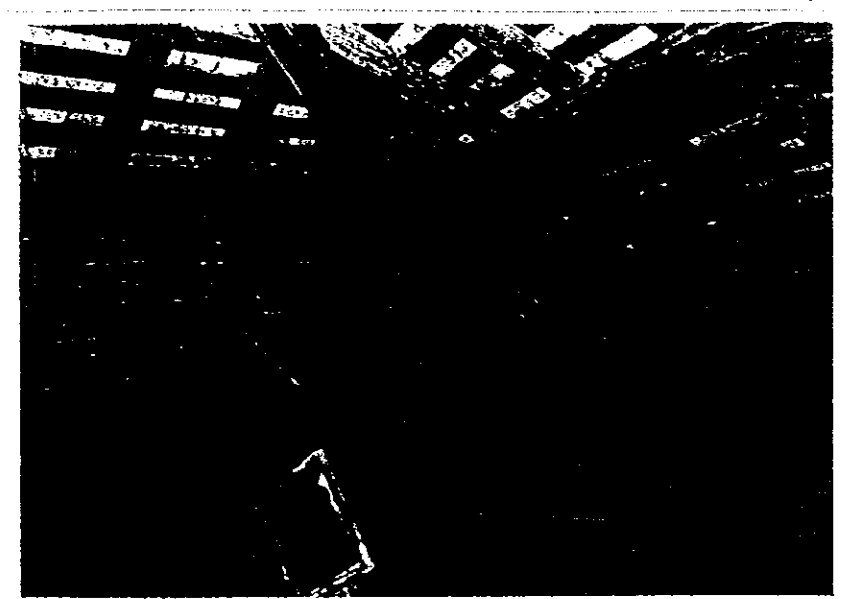
# Nguyễn Hàn 住宅



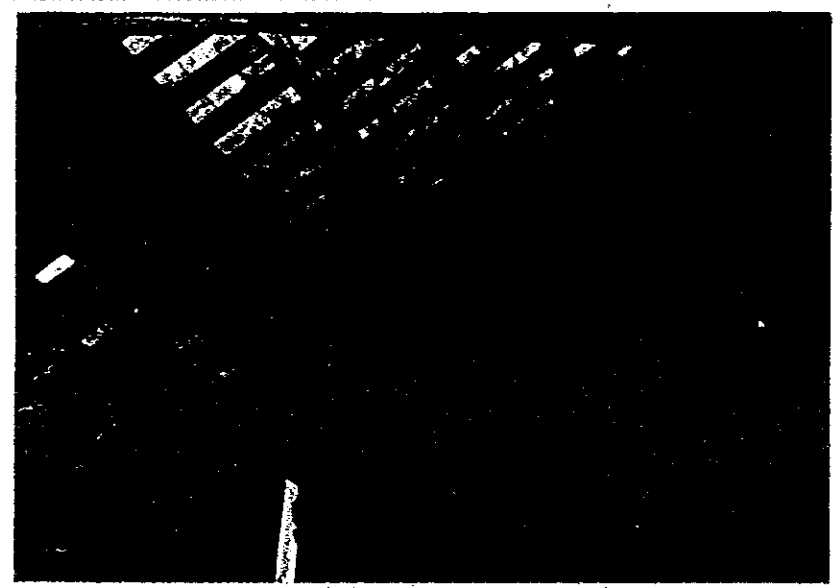
居住者名 *Nguyễn Hân*  
 所在地 *18 Kim Long, TP Huế*  
 建築年代 *1853 (棟札)*



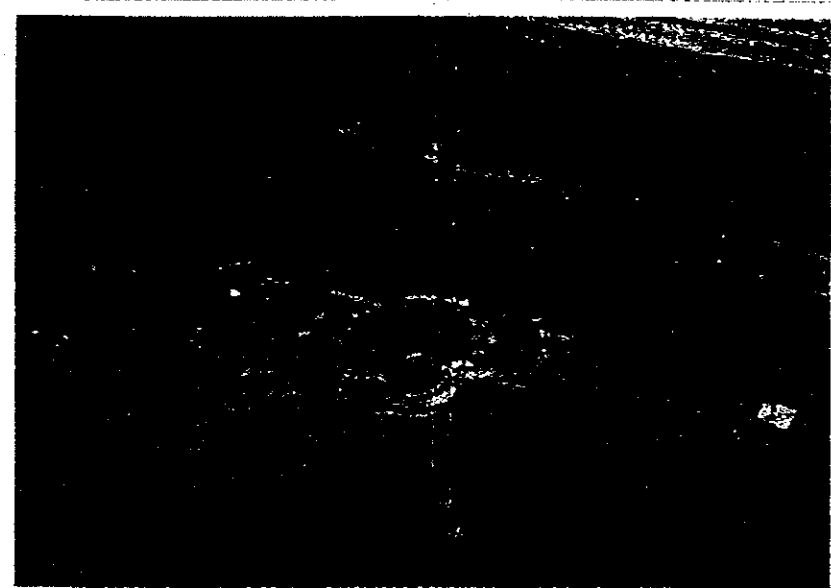
オモヤ



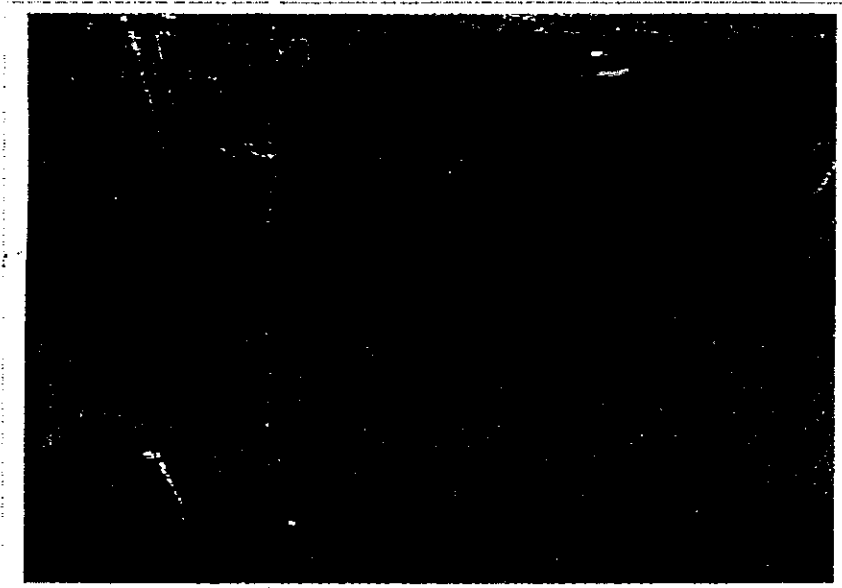
オモヤ



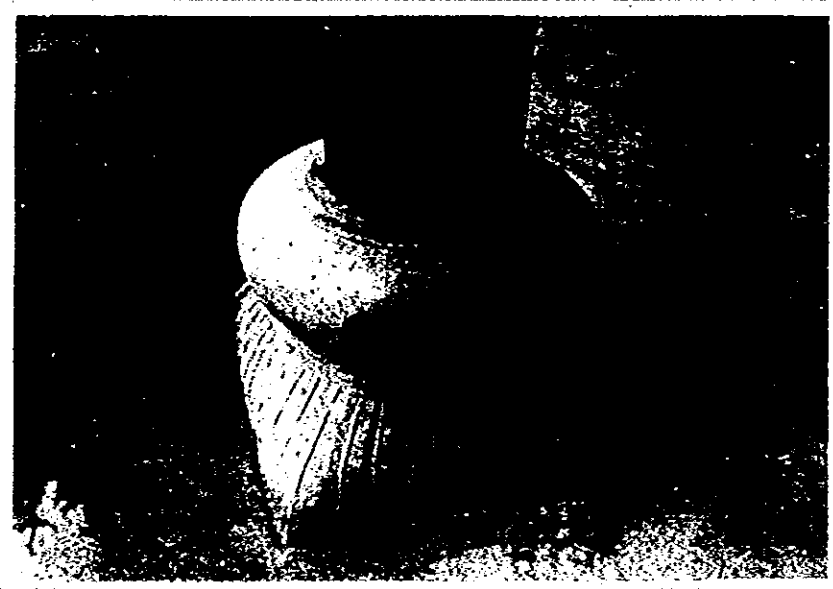
オモヤ



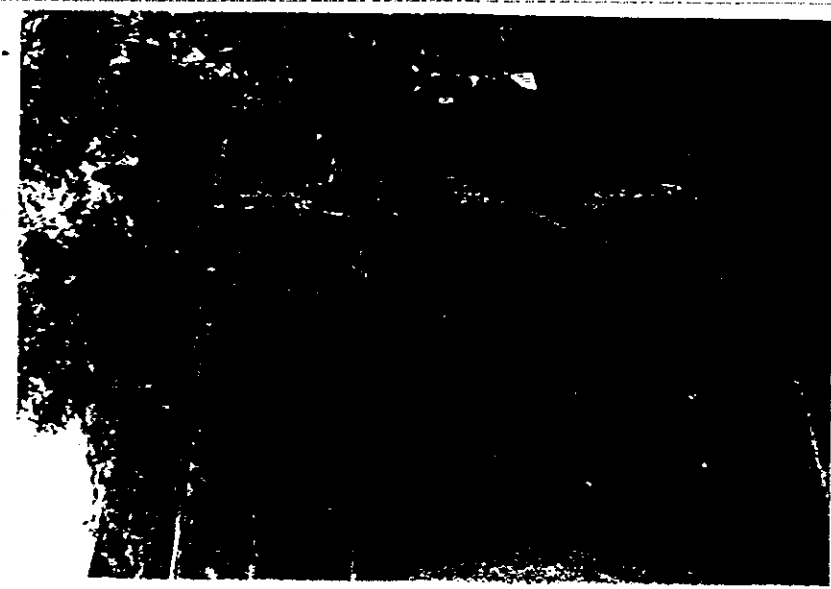
オモヤ



オモヤ



オモヤ



オモヤ (屋根の破損)



門

## トウアティエン＝フエ省の推薦民家 その4

所有者名 Nguyen Thi Tinh

所在地 To 3, KV1, Phuong Phu Hiep, TP Hue (フエ市フーヒップ街区1区3組)

(王宮の北東に隣接する街区)

推 薦 理 由
1. ロイ型の中では標準規模といえる。
2. 登梁・母屋桁に施されている彫刻は典型的なものである。ヒエンの柱と持ち送りにも装飾が施されているタイプである。
3. オモヤの左右庇部奥には板壁によって仕切られた納戸があり、床板も一部残っている。ヨコヤ・釜屋も含め改変がほぼなく、かつての起居様式を考察するためにも貴重な資料である。
4. 特にヨコヤについて破損が著しい。早急な修理が望まれる。
5. 現在老婆が一人で暮らしているため、当民家は残っているが、日本の例にも見られるように老婆が居なくなると取り壊されることも有りうる。現段階での保存対策が必要。

### 基礎的データ

#### 1. オモヤについて

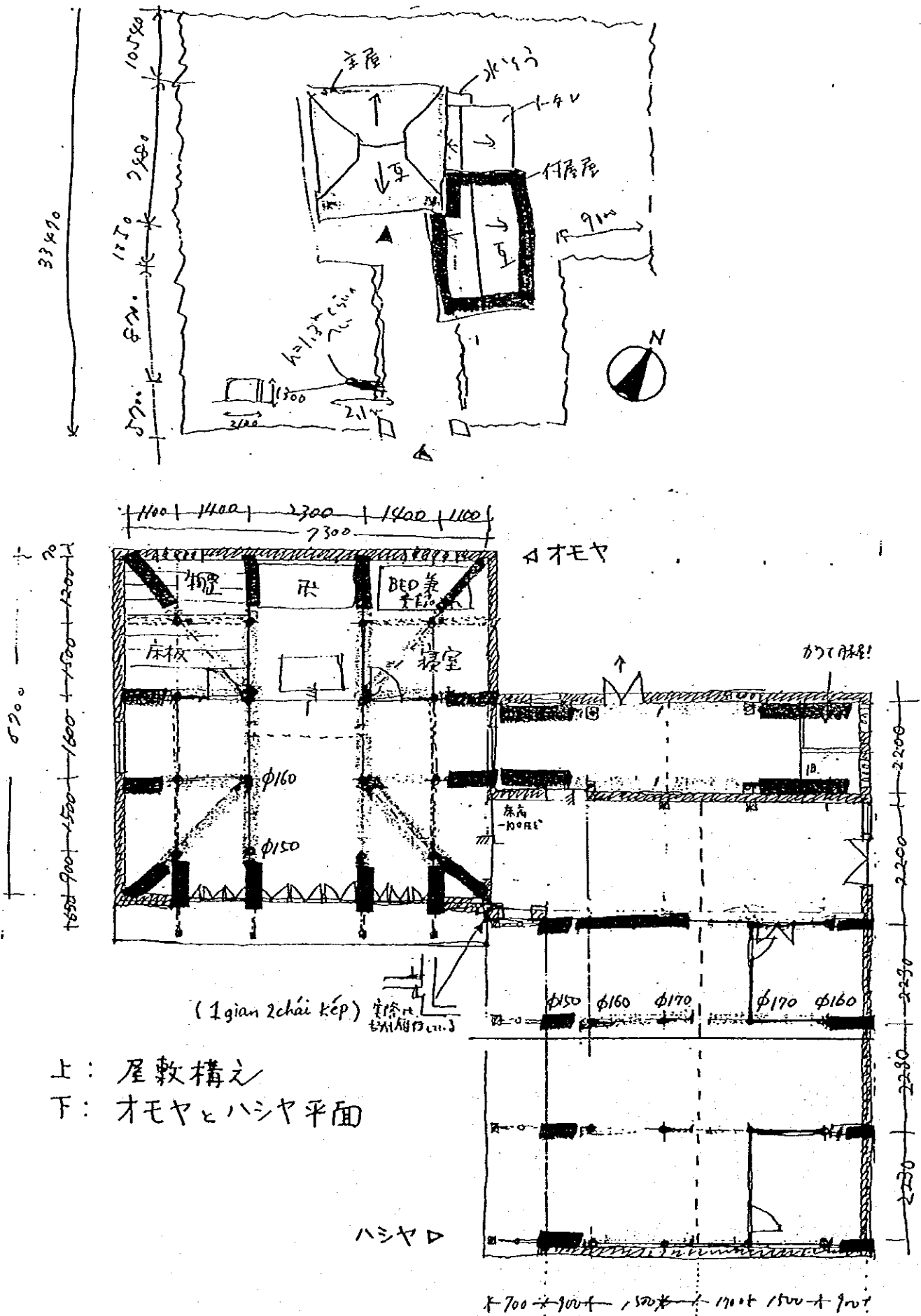
建築年代	1903	その根拠	伝承
建築時の家業	官吏		
規 模	5×5間(7300×6700mm)		
平面形式	ロイ型	架構形式	I型
保存状態	細部に至るまで良く残っているが、破損が進行している。		
改造状況	改造はほぼ行われていない。		

#### 2. 敷地(オモヤ以外について)

	有無	保 存 状 況
ヨコヤ	○	改造はほぼないが、破損が著しい。屋根は葺き替えられている
ハシヤ	×	当初からなし
釜屋	○	伝統的な形。オモヤと同時期につくられたと思われる。
門	○	
その他		

# Nguyễn Thị Tinh 住宅

その4



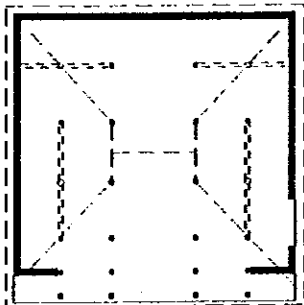
上: 屋根構造  
下: 木ヤとハシヤ平面

ハシヤ

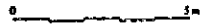


# Nguyễn Thị Tinh 住宅

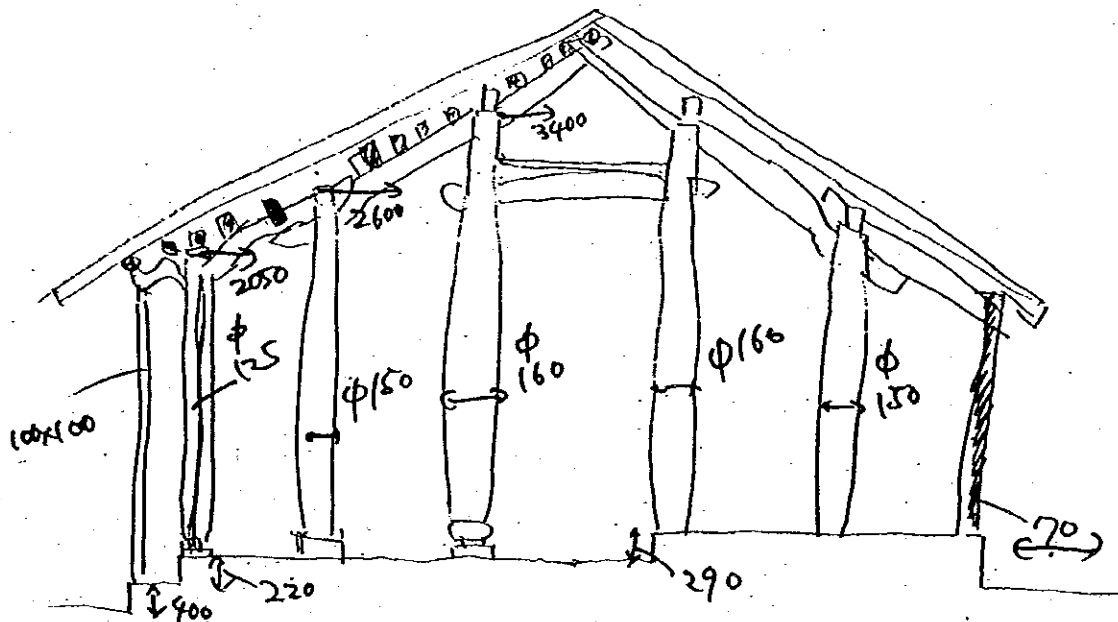
その4



No.3 Nguyen Thi Tinh 家住宅



## 柱ヤ平面



## 柱ヤ断面

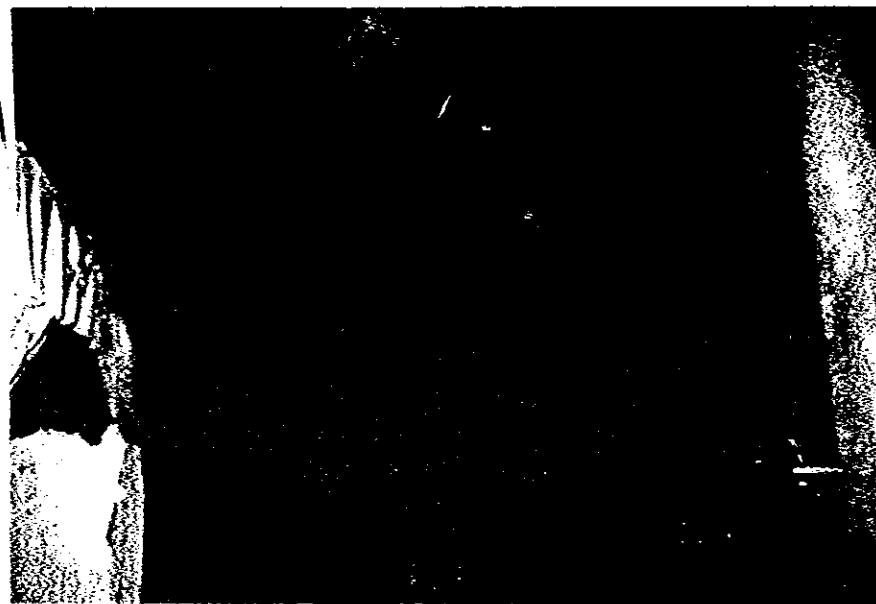
居住者名 *Nguyễn Thị Tinh*  
 所在地 *Tổ 3, KV1, P. Phú Hiệp,*  
 建築年代 *1903 (伝承) TP Huế*



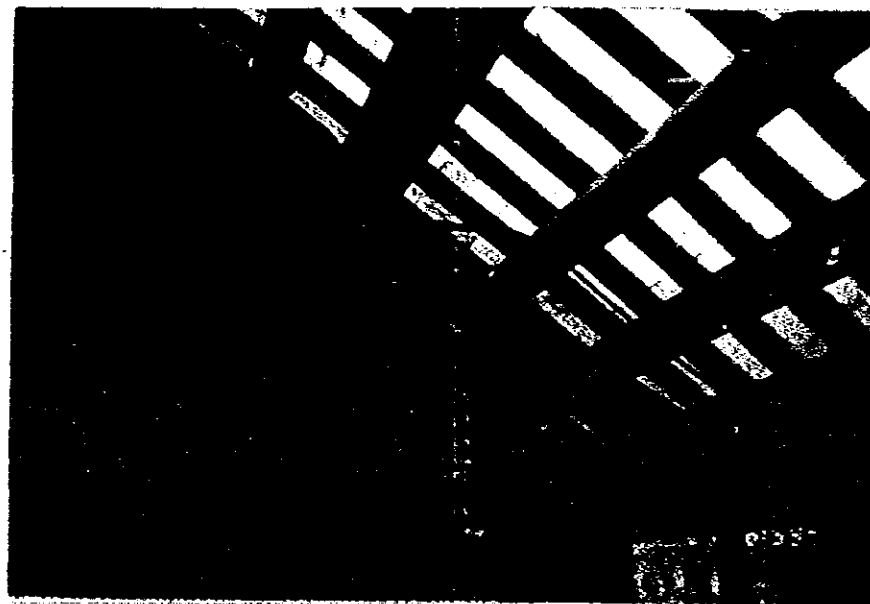
オモヤ



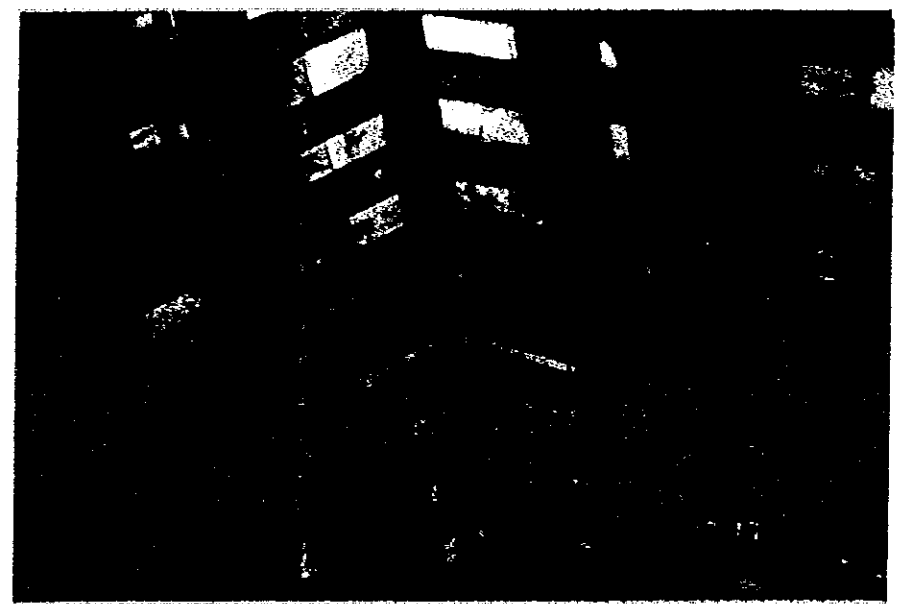
ヨコヤ



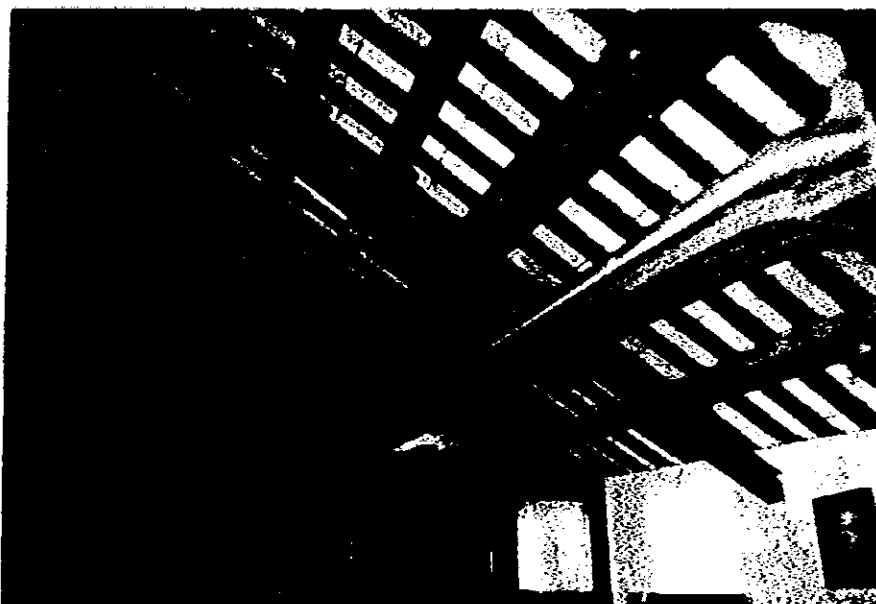
オモヤ



オモヤ



オモヤ



オモヤ



オモヤ

## トゥアティエン＝フエ省の推薦民家 その5

所有者名 Dang Cong Chien

所在地 Xa Huong Van, Huyen Huong Tra (フオンチャー県フオンヴァン村)

(フエ市内から北西へ車で40～50分)

推 薦 理 由
1. 庶民の掘建て小屋と支配者層の住宅との中間に位置付けられる。小規模なロイ型。
2. 柱・登梁・貫などはミットを用いるが、垂木は竹で、茅葺きとする他、竹小舞の壁が一部残る。また、身舎部に張られた天井も植物を網代に編んだものである。形状は支配者層の住宅と同じだが、材料に異なるものも用いる点が、現存している住宅では少数であり独特である。
3. オモヤについては改変が少ない。
日本と同様、今後茅葺きの民家は急激に失われていく危険性をもつであろう。現段階での保存が望まれる。

### 基礎的データ

#### 1. オモヤについて

建築年代	不明	その根拠	1963年同村から移築。
建築時の家業	不明		
規 模	3×5間 (6770×5460mm)		
平面形式	ロイ型	架構形式	I 型
保存状態	良好		
改造状況	外周柱に竹小舞の痕がある。現在は正面側を残し、残りの3面は煉瓦壁。		

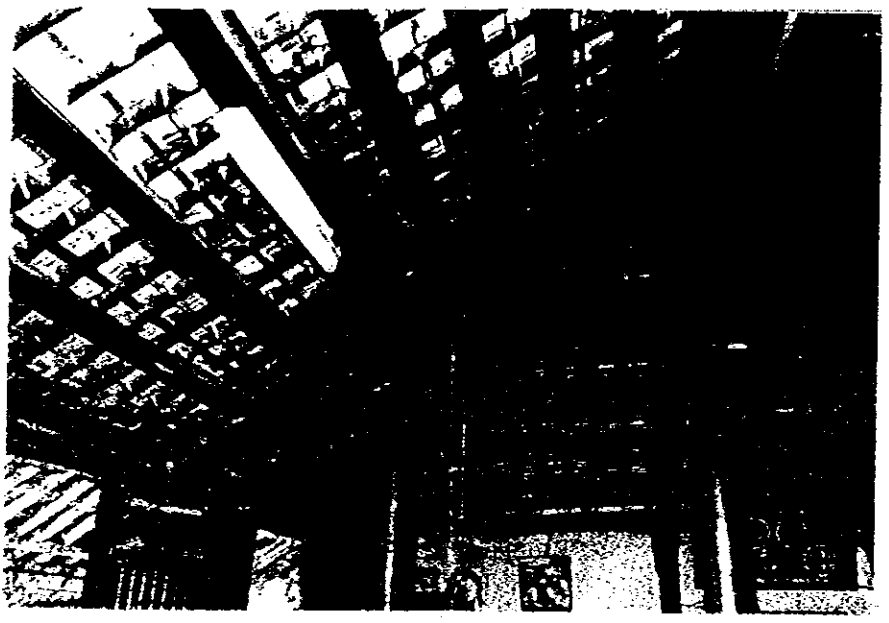
#### 2. 敷地(オモヤ以外について)

	有無	保 存 状 況
ヨコヤ	○	近年に建てかえられたもの
ハシヤ	×	当初からなし
釜屋	○	近年に建てかえられたもの
門	×	樹木を植え門の代わりとする
その他		畑・祠・1963年製の水盤

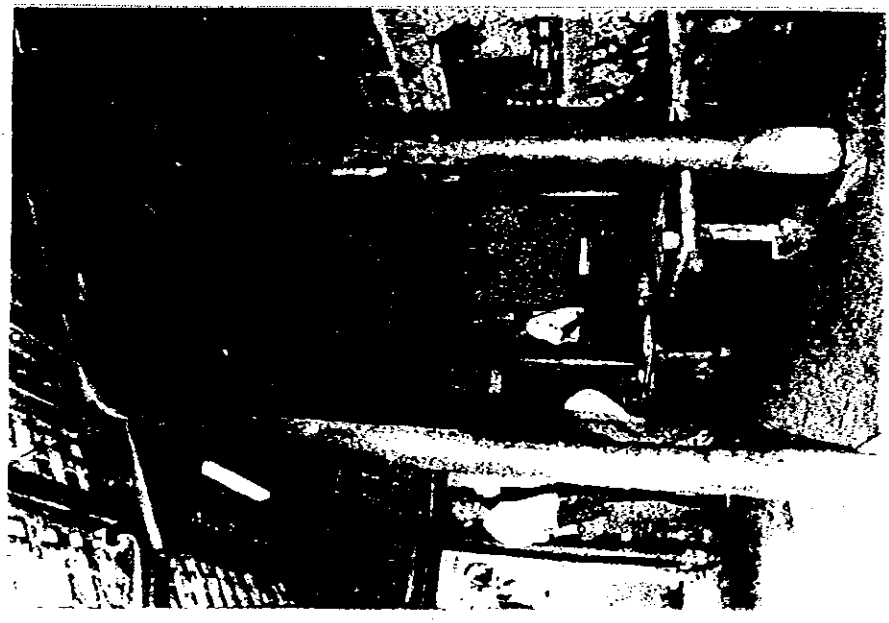
居住者名 *Đặng Công Chiếu*  
 所在地 *Xã Hương Văn, Hương Trà*  
 建築年代 不明 (1963に同村から移築)



オモヤ



オモヤ



オモヤ